

[1] 職歴

- 1947/08/13 愛知県碧海郡六ツ美村で生誕
- 1954/03/26 愛知県六ツ美村立六ツ美保育園 3年保育終了
- 1960/03/19 愛知県六ツ美町立六ツ美南小学校卒業
- 1963/03/14 愛知県岡崎市立六ツ美中学校卒業
- 1966/03/01 愛知県立西尾高等学校卒業
- 1971/03/15 大阪工業大学電子工学科卒業
- 1971/04/04 日本電装株式会社入社
- 1971/04-1982/12 日本電装株式会社 電子部勤務
- ・自動車のアンチスキッド、電子燃料噴射装置、エアコン、オートドライブなどのコントローラの製品開発及び設計に従事(1971-1979)
 - ・家庭用エアコン、石油暖房機などのコントローラの製品開発及び設計に従事(1980-1982)
 - ・日本で最初のPOSシステムの開発に参加(1980-1982 流通システム開発センター、セブンイレブン、NEC、TEC、日本電装)
 - ・ランプ照明でMOSセンサを使用したハンディタイプスキャナの開発に従事(1981)
 - ・バーコードリーダ用CCDセンサの開発に参加(1982)
- 1983/01-1995/11 日本電装株式会社 応用機器技術部勤務
- ・ガス給湯器などのコントローラの製品開発及び設計に従事(1983-1985)
 - ・LED照明でCCDセンサを使用したハンディタイプスキャナの開発に従事(1984)
 - ・CMOSセンサの開発に参加(1984)
 - ・世界で初めての一体型、CMOSセンサを使用したハンディタイプスキャナの開発に従事(1985)
 - ・一体型、CCDセンサを使用したハンディタイプスキャナの開発に従事(1986)
 - ・高分解能CCDスキャナの開発に従事(1987)
 - ・CCDセンサを使用したバーコードハンディターミナルの開発に参加(1989)
 - ・オーバーヘッド型レーザスキャナの開発に参加(1991)
- 1995/12-1996/09 日本電装株式会社 産業機器品質保証部勤務
- ・産業機器製品の品質保証業務に従事
 - ・QRコードの国際標準化活動を推進
- 1996/10 株式会社デンソーに社名変更
- 1996/10-1998/12 株式会社デンソー 産業機器品質保証部勤務
- ・ISO 9000認証取得業務を推進
 - ・QRコードの国際標準化活動を推進
- 1999/01-2001/09 株式会社デンソー 産業機器技術1部勤務
- ・自動認識製品のマーケティング業務に従事
 - ・QRコードの国際標準化、国家規格化活動を推進
- 2001/10 株式会社デンソーウェブ設立
- 2001/10 株式会社デンソーウェブに出向
- 2001/10-2002/12 株式会社デンソーウェブ自動認識事業部勤務
- ・QRコードの国際標準化、国家規格化活動を推進
- 2003/01 株式会社デンソーウェブに転籍
- 2003/01-2011/08 株式会社デンソーウェブ自動認識事業部勤務
- ・QRコード/マイクロQRコードの普及活動を推進
 - ・RFIDの普及および国際標準化活動を推進
 - ・ダイレクトマーキングの普及および国際標準化活動を推進
 - ・リライタブルハイブリッドメディアの普及および国際標準化活動を推進
 - ・プラスチック製通い箱へのダイレクトマーキングの普及および国際標準化活動を推進
 - ・データキャリアの利用促進および国際標準化活動を推進
 - ・自動車業界の業界標準化活動を推進
- 2003/07 社団法人 日本自動認識システム協会 研究開発センター長を兼務
- 2011/08 株式会社デンソーウェブ退社
- 2011/08 自動認識コンサルタント設立
- ・自動認識に関わるコンサルタント業務
 - ・株式会社デンソーエスアイとの業務契約主体

- 2011/09 株式会社デンソーエスアイと業務契約
- ・プラスチック製通い箱へのダイレクトマーキングの普及および国際標準化活動を推進
 - ・データキャリアの利用促進および国際標準化活動を推進
 - ・自動車業界の業界標準化活動を推進
 - ・リライタブルハイブリッドメディアの事業展開
 - ・通い箱物流システムの事業展開
 - ・RFIDを使用したシステムの事業展開
- 2015/03 株式会社デンソーエスアイと業務契約終了
- 2017/11 ホームページ開設 “shibata-library”
- 2017/11 ホームページ開設 “shibata-scuba-diving”
- 2017/11 ホームページ開設 “mutsumi-nanbu”

[2] 参加委員会委員歴

(1) 委員歴

- 1991/04-1992/03 (社)日本電子工業振興協会 バーコード技術標準研究会 主査
- 1992/04-1995/03 (社)日本電子工業振興協会 ハーコード技術標準化専門委員会 委員長
- 1995/04-1997/03 (社)日本電子工業振興協会 バーコード標準化専門委員会 協力者
- 1995/04-1999/03 エー・アイ・エム ジャパン 技術委員会 委員長
- 1996/01-1998/01 エー・アイ・エム (AIM) インターナショナル 技術委員会 委員
- 1996/10-2011/03 (社)情報処理学会／情報規格調査会 技術委員会 委員
- 1996/10-2011/03 (社)情報処理学会／情報規格調査会 表彰委員会 委員
- 1996/10-2011/03 (社)情報処理学会／情報規格調査会 SC31 専門委員会 委員長
- 1997/04-2001/03 (社)日本電子工業振興協会 ADC 委員会 委員長
- 1997/04-2001/03 (社)日本電子工業振興協会 ADC WG2 委員会 委員長
- 1997/04-2001/03 エー・アイ・エム (AIM) インターナショナル 理事
- 1999/04-2002/03 (社)日本自動認識システム協会 技術委員会 委員長
- 2001/04-2011/03 (社)電子情報技術産業協会 自動認識及びデータ取得技術委員会 委員長
- 2001/04-2011/03 (社)電子情報技術産業協会 AIDC WG1 委員会 委員
- 2001/04-2011/03 (社)電子情報技術産業協会 AIDC WG2 委員会 委員
- 2001/04-2009/03 (社)電子情報技術産業協会 AIDC WG3 委員会 委員
- 2001/04-2011/03 (社)電子情報技術産業協会 AIDC WG4 委員会 委員
- 2001/04-2007/03 (社)電子情報技術産業協会 標準化総合委員会 委員
- 2001/06-2016/03 (社)日本自動認識システム協会 物品識別標準化委員会 幹事
- 2002/10-2011/03 (社)情報処理学会／情報規格調査会 SC37 専門委員会 委員
- 2002/02-2003/10 (社)情報処理学会／情報規格調査会 SC37/SG1, SG4, SG6 委員
- 2002/04-2003/03 経済産業省「商品トレーサビリティの向上に関する研究会」委員
- 2002/04-2004/03 (財)日本規格協会「国際複合一貫輸送のためのデータエレメント・メッセージの標準化」委員
- 2003/11-2006/03 (社)情報処理学会／情報規格調査会 SC37/WG1, WG4 委員
- 2003/04-2005/03 (社)電子情報技術産業協会 情報処理標準化運営委員会 委員長
- 2003/04-2004/03 (財)流通システム開発センターGCI 研究会会員
- 2003/04-2004/03 (財)流通システム開発センター「RFID システム調査研究委員会」委員
- 2003/04-2006/03 (社)日本自動車研究所「ERI ビジネスチーム」委員
- 2003/07-2014/03 (社)日本自動認識システム協会 研究開発センター長
- 2004/04-2011/03 (社)船主協会「ISO コンテナ委員会」委員
- 2004/04-2006/03 (社)新産業創造研究機構「電子タグ・電子シール利用研究会」オブザーバ
- 2004/04-2006/03 (社)電子情報技術産業協会「ハンディターミナル専門委員会」委員
- 2004/04-2005/03 経済産業省「プライバシー保護標準化検討会」委員
- 2004/04-2005/03 (財)データベース振興センター「緯度経度国際提案委員会」委員
- 2004/04-2005/03 (財)新産業創造研究機構「港湾物流における IC タグ利用に関する調査研究委員会」アドバイザー
- 2004/04-2005/03 (社)日本物流団体連合会「情報共有基盤等標準化ワーキンググループ」委員
- 2004/04-2005/03 国土交通省「安全かつ効率的な国際物流の実現に関する検討委員会 IT 部会」オブザーバ
- 2005/04-2006/03 (財)防衛調達基盤整備協会「電子タグ等を利活用した自衛隊国際平和協力活動にお

ける補給業務効率化検討会」 委員

2005/04-2006/03 (社) 電子情報技術産業協会「電子タグ実証実験推進特別委員会」委員

2005/04-2006/03 三菱総合研究所「電子タグ等を活用した日アセアン貿易円滑化検討会」委員

2005/04-2006/03 (財) 港湾近代化促進協議会「国際コンテナ物流の電子タグ実証実験推進会議」委員

2005/04-2008/03 経済産業省「電子タグ国際標準化戦略会議」委員

2005/04-2006/03 (株) 野村総合研究所「緯度経度国際提案委員会」委員

2005/04-2006/03 (財) 新産業創造研究機構「港湾物流における IC タグ利用に関する調査研究」委員

2005/04-2008/03 次世代電子商取引推進協議会「電子タグ/トレーサビリティ特別部会」委員

2005/04-2008/03 (財) 日本規格協会「国際複合一環輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究の総合調整委員会」委員

2005/04-2006/03 (社) 日本自動車部品工業会「電子タグ研究会」オブザーバ

2006/04-2007/03 (財) 日本情報処理開発協会「電子タグ基本技術戦略委員会」委員

2006/04-2007/03 (財) 日本情報処理開発協会「電子タグ利活用検討ワーキンググループ」委員

2006/04-2007/03 (財) 日本情報処理開発協会「電子タグ実証実験連絡会議」委員

2006/04-2007/03 (財) 日本情報処理開発協会「時空間情報利活用 PI 検討ワーキンググループ」委員

2006/04-2007/03 (社) 電子情報技術産業協会 標準・安全委員会 委員

2006/04-2007/03 (社) 電子情報技術産業協会「RFID ミドルウェア検討委員会」委員長

2006/04-2007/03 (社) 日本航空宇宙工業会「航空機産業における維持整備に関する電子タグ活用実証実験のための調査研究委員会」委員

2006/04-2010/03 (社) 日本自動車部品工業会「EDI 部会電子タグ標準検討グループ会議」委員

2006/04-2010/03 (社) 日本自動車工業会「JAMA・JAPIA 電子タグ共同検討会」委員

2007/04-2008/03 (社) 日本航空宇宙工業会「我が国防衛産業における業務プロセス変革のための航空機産業における電子タグ等の利用動向調査委員会」委員

2007/04-2008/03 (財) 国際情報化協力センター「アジア IT 標準化要求調査技術小 3 委員会」委員長

2007/04-2011/03 (財) 国際情報化協力センター「運営委員会」委員

2007/04-2008/03 (社) 日本自動認識システム協会「JAISA ビジョン 2010 年作成プロジェクト」委員

2007/04-2010/03 (社) 日本自動認識システム協会「書き換え可能な目視媒体の標準化委員会」委員

2007/04-2008/03 (社) 電子情報技術産業協会 標準・安全委員会 委員

2008/04-2009/03 (社) 電子情報技術産業協会 標準化運営委員会 委員

2009/04-2011/03 (社) 電子情報技術産業協会 技術企画・標準委員会 委員

2008/04-2011/03 (社) 電子情報技術産業協会 AIDC WG6 委員会 委員

2008/04-2010/03 経済産業省「ビジネスインフラ研究会」委員

2008/04-2009/03 経済産業省「つながり力勉強会」委員

2008/04-2009/03 (財) 日本情報処理開発協会「時空間情報利活用委員会」委員

2008/04-2011/03 (社) 日本自動認識システム協会「RFID 機器が植込み型医療機器に及ぼす影響の評価方法に関する標準化」ISO-TR 提案審議委員会委員

2009/04-2011/03 (社) 日本自動認識システム協会「国際複合一環輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究の総合調整委員会」幹事

2009/04-2011/03 (社) 日本自動認識システム協会「国際複合一環輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究の総合調整委員会 研究会」幹事

2009/04-2011/03 (社) 日本自動認識システム協会「通い箱ダイレクマーケティング委員会」幹事

2009/04-2010/03 (社) 日本自動認識システム協会「データキャリア活用ガイドライン作成ワーキンググループ」グループ長

2009/04-2010/03 (財) 国際情報化協力センター「アジア QR コード調査委員会」委員

2010/04-2011/03 (社) 日本自動認識システム協会「物流用データキャリアのインターフェースに関する国際標準開発」委員会 幹事

2010/04-2011/03 国土交通省 国土地理院「場所情報コード勉強会」会員

2011/04-2020/03 (社) 電子情報技術産業協会 自動認識及びデータ取得技術委員会 顧問

2011/04-2012/03 (一社) 日本自動認識システム協会「物流用データキャリアのインターフェース及び

2011/04-2012/03	リターナブル容器へのダイレクトマーキングに関する国際標準開発」委員会 幹事 (一社)日本自動認識システム協会「海上コンテナトラッキングに関する国際標準開発」委員会 幹事
2011/05-2012/03	(一社)日本情報経済社会推進協会「ISO/TC247 及び PC246 国内審議委員会」委員
2011/10-2012/07	流通研究社 アジア・シームレス物流フォーラム 3012「企画・実行委員会」委員
2012/10-2013/07	流通研究社 アジア・シームレス物流フォーラム 3013「企画・実行委員会」委員
2012/04-2015/03	(一社)日本自動認識システム協会「完成車物流の可視化標準化委員会」委員会 幹事
2012/04-2015/03	(一社)日本自動認識システム協会「完成車物流の可視化標準化委員会」検討分科会 幹事
2013/09-2015/03	(公社)日本包装技術協会「ISO/TC122 WG13 SWG4 委員会」委員
2013/09-2014/03	(公社)日本ロジスティクスシステム協会「物流情報システムの連携、物流情報の可視化による物流効率化調査委員会」委員
2013/09-2014/03	(公社)日本ロジスティクスシステム協会「RFID 情報の標準化による物流の効率化調査委員会」委員
2013/10-2014/07	流通研究社 アジア・シームレス物流フォーラム 2014「企画・実行委員会」委員
2014/04-2015/03	(一社)日本自動認識システム協会 特別顧問
2014/04-2016/03	(一社)日本自動認識システム協会 SCM 用 RFID 規格改定検討委員会委員
2014/04-2018/03	(一社)日本自動認識システム協会 金属製 RTI 用 RFID に関する検討委員会推進委員
2014/04-2016/03	(一社)日本自動認識システム協会 ISO 改定技術検討委員会委員
2014/04-2016/03	(一社)日本自動認識システム協会 JIS 原案作成委員会分科会委員
2016/04-2018/03	(一社)日本自動認識システム協会 ISO TC122 WG12 国内委員会委員
2016/04-2018/03	(一社)日本自動認識システム協会 技術検討委員会委員
2018/04-2019/03	(一社)日本自動認識システム協会 ISO1736x 改定合同部会委員

(2) 参加委員会委員例 (2010 年国内委員会)

- (社) 情報処理学会/情報規格調査会
 - 情報規格調査会 委員
 - 技術委員会 委員
 - 表彰委員会 委員
 - ISO/IEC JTC1 SC31 専門委員会 委員長
 - ISO/IEC JTC1 SC37 専門委員会 委員
- (社) 電子情報技術産業協会
 - 技術企画・標準委員会 委員
 - 自動認識及びデータ取得技術標準化委員会 委員長
 - AIDC WG1 委員会 委員
 - AIDC WG2 委員会 委員
 - AIDC WG4 委員会 委員
 - AIDC WG5 委員会 委員
 - AIDC WG6 委員会 委員
 - RFID エキスパートグループ 議長
- (社) 日本自動認識システム協会
 - 研究開発センター長
 - 物品識別標準化委員会 幹事
 - ISO TC122 WG4・WG7・WG10 国内委員会 幹事
 - ISO TC20 WG13 国内委員会 幹事
 - ISO TC204 SWG7.3 国内本委員会 幹事
 - ISO TC204 SWG7.3 国内コア委員会 幹事
 - 「書き換え可能な目視媒体の標準化」委員会 幹事
 - 「RFID 機器が植込み型医療機器に及ぼす影響の評価方法に関する標準化」審議委員会 委員
 - 「通い箱ダイレクトマーキング」委員会 幹事
 - 「物流用データキャリアのインターフェースに関する国際標準開発」委員会 幹事
- (社) 日本船主協会
 - ISO コンテナ委員会 委員
- (社) 日本自動車工業会
 - 「JAMA・JAPIA 電子タグ共同検討会」委員
- (社) 日本自動車部品工業会
 - 「電子タグ標準検討グループ会議」委員

- (財) 国際情報化協力センター
- 「タイ QR コードプロジェクト」メンバー
- 「アジア QR コード調査委員会」委員
- 「運営委員会」委員

(3) 参加事業歴

- 1998-2000 高度物流情報化システム開発事業 (日本ロジスティクスシステム協会)
- 1999-2000 物流用無線タグ開発事業 (日本電子工業振興協会)
- 2000-2002 製造科学技術センター事業「耐環境性、金属貼り付け可能 RFID 及びその読取・書込機の開発」(自動認識システム協会)
- 2002-2003 経済産業省委託事業 情報経済基盤整備 国際的な貨物輸送管理の高度情報化基盤事業 (日本規格協会)
- 2003-2004 経済産業省委託事業 平成 15 年度エネルギー使用合理化標準化調査「国際複合一貫輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究」(野村総合研究所)
- 2003-2004 経済産業省委託事業「次世代物流効率化システム研究開発事業 (RFID システム調査研究)」(流通システム開発センター)
- 2003-2005 中小企業基準認証研究開発事業「RFID (無線 IC タグ) リライト複合媒体タグの標準化」(理化学研究所)
- 2003-2005 基準認証研究開発事業「製品・部品への二次元シンボルのダイレクトマーキング及び自動読取技術の標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2004-2006 経済産業省委託事業「国際複合一貫輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査」(日本規格協会)
- 2005-2006 基準認証研究開発事業「生体情報による個人識別技術 (バイオメトリクス) を利用した社会基盤構築に関する標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2006-2007 経済産業省委託事業「RFID ミドルウェアの標準化」(電子情報技術産業協会)
- 2007-2009 経済産業省委託事業「書き換え可能な目視媒体の標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2008-2010 国際情報化協力センター「タイ QR コード国家規格化プロジェクト」
- 2008-2011 経済産業省委託事業「RFID 機器が植込み型医療機器に及ぼす影響の評価方法に関する標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2009-2011 経済産業省委託事業「通い箱ダイレクトマーキングの標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2009-2010 経済産業省委託事業「データキャリア活用ガイドラインの標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2009-2010 経済産業省委託事業「アジア QR コード調査委員会」(国際情報化協力センター)
- 2009-2011 経済産業省委託事業「国際複合一貫輸送における商用車および貨物車等可視化のための車載機を活用したアプリケーションプロファイルの標準化」(日本自動認識システム協会)
- 2010-2011 経済産業省委託事業「物流用データキャリアのインターフェースに関する国際標準開発」(日本自動認識システム協会)
- 2011-2012 アジア・シームレス物流フォーラム 3012 (流通研究社)
- 2011-2012 経済産業省委託事業「海上コンテナトラッキングシステムに関する標準化に係るフィージビリティスタディ」(日本自動認識システム協会)
- 2011-2012 経済産業省委託事業「物流用データキャリアのインターフェース及びリターナブル容器へのダイレクトマーキングに関する国際標準開発」(日本自動認識システム協会)
- 2012-2013 アジア・シームレス物流フォーラム 3013 (流通研究社)
- 2012-2014 経済産業省委託事業「完成車物流の可視化標準化委員会」(日本自動認識システム協会)
- 2013-2014 アジア・シームレス物流フォーラム 3014 (流通研究社)
- 2013-2014 経済産業省委託事業「物流情報システムの連携、物流情報の可視化による物流効率化調査」(日本ロジスティクスシステム協会)
- 2013-2014 経済産業省委託事業「RFID 情報の標準化による物流の効率化調査委員会」(日本ロジスティクスシステム協会)
- 2015-2017 経済産業省委託事業「金属製循環型物流機材 (RTI) 用 RFID に関する国際標準化」(日本自動認識システム協会)

(4) 居住学区・町関係役員

- 2012-2013 岡崎市中島町本町 副総代
- 2012-2013 岡崎市中島町本町 福祉委員
- 2014-2015 岡崎市中島町本町 総代
- 2014-2015 岡崎市中島町本町 福祉委員幹事

2015 岡崎市南部学区総代会副会長
2015-2016 岡崎市「町ものがたり」六ツ美南部学区編集委員
2016-2017 岡崎市南部学区福祉委員会副委員長
2018 岡崎市南部学区福祉委員会事務長
2016-2020 岡崎市南部学区 まちづくり協議会 地域委員
2017-2020 岡崎市南部学区 災害に強いまちづくり委員会 委員

[3] 業績

(1) 商品開発

- 1973 四輪駆動アンチスキッド制御装置の開発
- 1982 日本で最初の POS システム用バーコードスキャナの開発
- 1984 世界初の LED 照明で CCD センサを使用したバーコードスキャナの開発
- 1986 世界初の一体型、CCD センサを使用したバーコードスキャナの開発
- 1987 高分解能 CCD バーコードスキャナの開発

(2) QR コード規格成立

- 1997 AIM 規格 (AIM ITS 97/001)
- 1999 JIS 規格 (JIS-X0510)
- 2000 ISO 規格 (ISO/IEC 18004)
- 2002 中国国家規格 (GB/T 18284)
- 2002 韓国国家規格 (KS X ISO/IEC 18004)
- 2004 ベトナム国家規格 (TCVN 7322)
- 2005 ISO 規格 (ISO/IEC 18004-2005 含むマイクロ QR コード)
- 2008 シンガポール国家規格 (SS543)

(3) QR コードのアプリケーション規格への採用

- 2002 IEC62090 Product package labels for electronic components using bar code and two-dimensional symbologies
JIS-X0515 出荷、輸送及び荷受け用ラベルのための 1 次元シンボル及び 2 次元シンボル
- 2003 EHBCC&HIBC UIM-for Medical Devices
- 2005 DIN V 66401 UIM-Application requirements for very small items using matrix symbols
- 2005 DIN D 10772 UIM-Application requirements for very small items using matrix symbols
- 2005 ISO22742 Linear bar code and two-dimensional symbols for product packaging
JIS-C0807 バーコード及び二次元シンボルを使用した電子部品用容器包装ラベル
- 2006 ISO21849 Aircraft and space-Product identification and traceability
- 2006 AIAG B11 Tire and Wheel label and RFID
JIS-X0516 製品包装用 1 次元シンボル及び 2 次元シンボル
- 2007 ISO15394 Bar code and two-dimensional symbols for shipping, transport and receiving labels
- 2007 ISO/IEC TR24720 Guideline for Direct Part Marking(DPM)
- 2009 ISO28219 Labeling and direct product marking with linear bar code and two-dimensional symbols

(4) 自動認識技術の普及と国際規格開発

- 2003-2005 2 次元シンボルのダイレクトマーキングの普及および国際標準化活動を推進 (ISO/IEC 24720)
- 2003-2009 リライターブルハイブリッドメディアの普及および国際標準化活動を推進 (ISO/IEC 29133)
- 2004-2008 RFID の普及および国際標準化活動を推進 (ISO/IEC 18000 シリーズ)
- 2004-2010 コンテナセキュリティ用電子シールの国際標準化活動推進 (ISO 18185)
- 2006-2010 自動車業界への RFID の普及と業界標準化推進 (JAIF 規格)
- 2009-2012 通い箱へのダイレクトマーキングの普及および国際標準化活動の推進 (ISO 17350)
- 2009-2012 データキャリアの普及および国際標準化活動の推進 (ISO 17370)

(5) 日本発 ISO 国際規格開発

- 2000 ISO/IEC18004 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - QR Code 2005 bar code symbology specification
- 2004 ISO/IEC18001 Information technology - Radio frequency identification for item management - Application requirement profile
- 2004 ISO/IEC18000-2 Information technology - Radio frequency identification for item management - Part2: Parameters for air interface communications below 135 KHz
- 2006 ISO/IEC15459-4 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Unique identifiers Part4: Unique items
- 2007 ISO/IEC15459-6 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Unique identifiers Part6: Product groupings
- 2008 ISO/IEC24720 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Guideline for direct part marking (DPM)
- 2010 ISO/IEC29133 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Quality test specification for rewritable hybrid media data carriers
- 2011 ISO/IEC20017 Information technology - Automatic identification and data capture techniques -

Radio frequency identification for item management - Experimental evaluation method for impact distance and mitigation method of Electromagnetic Interference(EMI) from RFID interrogators on active implantable medical devices

- 2011 ISO/IEC29162 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Guidelines for using data structures in AIDC media
- 2012 ISO/IEC24791-2 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Radio frequency identification(RFID) for item management - Software system infrastructure Part2: Data management
- 2013 ISO17350 Direct Marking on Plastic Returnable Transport Items (RTIs)
- 2013 ISO17370 Application Guideline on Data Carriers for Supply Chain Management
- 2013 ISO26683-1 Intelligent transport systems - Freight land conveyance content identification and communication - Part 1: Context, architecture and referenced standards
- 2013 ISO26683-2 Intelligent transport systems - Freight land conveyance content identification and communication - Part 2: Application interface profiles
- 2014 ISO/IEC16480 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Reading and display of ORM by mobil devices

(6) 日本工業規格(JIS) 原案作成

- 1994 JIS-X0502 「物流商品コード用バーコードシンボル」 原案検討委員会 委員
- 1994 JIS-X0503 「バーコードシンボル-NW-7 及びコード 39-基本仕様」 原案作成委員会 協力者
原案作成分科会 主査
- 1999 JIS-X0510 「2次元コードシンボル-QRコード-基本仕様」 原案作成委員会 委員長
- 2000 JIS-X0506 「バーコードシンボル-コードバー-基本仕様」 原案作成委員会 委員長
- 2000 JIS-X0503 「バーコードシンボル-コード 39-基本仕様」 原案作成委員会 委員長
- 2001 JIS-X0520 「バーコードシンボル-印刷品質の評価仕様-1次元シンボル」
原案作成委員会 委員長
- 2002 JIS-X0500 「データキャリア用語」 原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0533 「大容量自動認識情報媒体のための転送構文」 原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0531 「EAN/UCC アプリケーション識別子と FACT データ識別子、及びその管理」
原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0532-1 「固有の輸送単位識別子」 原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0532-2 「固有の輸送単位識別子」 原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0515 「輸送及び荷受け用ラベルのための1次元シンボル及び2次元シンボル」
原案作成委員会 委員
- 2003 JIS-X0504 「バーコードシンボル-コード 128-基本仕様」 原案作成委員会 委員長
- 2003 JIS-X0507 「バーコードシンボル-EAN/UPC-基本仕様」 原案作成委員会 幹事
- 2003 JIS-X0530 「データキャリア識別子(シンボル体系識別子を含む)」
原案作成委員会 委員長
- 2004 JIS-X0510 「2次元コードシンボル-QRコード-基本仕様」 原案改訂委員会 委員長
- 2004 JIS-X0505 「情報技術-自動認識及びデータ取得技術-バーコードシンボル体系仕様-インターリーブド2オブ5」 原案作成委員会 委員長
- 2005 JIS-X0521-1 「バーコード検証器の適合仕様 第一部1次元シンボル」 原案作成委員会 委員長
- 2005 JIS-X0522-1 「バーコードスキャナ及び複合器の性能試験法 第一部-1次元シンボル」
原案作成委員会 委員長
- 2006 JIS-X0516 「製品包装用1次元シンボル及び2次元シンボル」 原案作成委員会 委員長
- 2006 JIS-X0523 「バーコードデジタル画像化及び印刷性能試験」 原案作成委員会 委員長
- 2006 JIS-X0524 「バーコードマスタ試験仕様」 原案作成委員会 委員長
- 2009 JIS-X0500-1 「用語第一部 一般」 原案作成委員会 委員長
- 2009 JIS-X0500-2 「用語第二部 光学的読取媒体」 原案作成委員会 委員長
- 2009 JIS-X0500-3 「用語第三部 RFID」 原案作成委員会 委員長
- 2010 JIS-X6351-1 「物品管理用RFID 第一部 参照アーキテクチャー及びパラメタの定義」
原案作成委員会委員長
- 2010 JIS-X6351-2 「物品管理用RFID 第二部 135KHz未満のエアインターフェース通信パラメタ」
原案作成委員会 委員長
- 2010 JIS-X6351-3 「物品管理用RFID 第三部 13.56MHzのエアインターフェース通信パラメタ」
原案作成委員会 委員長
- 2010 JIS-X6351-4 「物品管理用RFID 第三部 2.45GHzのエアインターフェース通信パラメタ」

- 原案作成委員会 委員長
- 2010 JIS-X0508 「バーコードシンボル体系-PDF417」原案作成委員会委員長
- 2012 JIS-X0509 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—バーコードシンボル体系仕様—GS1 データバー」原案作成委員会 幹事
- 2012 JIS-X0505 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—バーコードシンボル体系仕様—インターリーブド2オブ5」原案改訂委員会 委員長
- 2013 JIS-X0515 「輸送及び荷受け用ラベルのための1次元シンボル及び2次元シンボル」原案改訂委員会 委員長
- 2013 JIS-X0525 「情報技術—リライタブルハイブリッドメディアの評価仕様」原案作成委員会 委員長
- 2015 JIS-X0664 「RFIDのサプライチェーンへの適用—リターナブル輸送器材(RTI)及びリターナブル包装器材(RPI)」原案作成委員会 幹事、原案作成分科会 オブザーバ
- 2017 JIS-X0663 「RFIDのサプライチェーンへの適用—貨物コンテナ」原案作成委員会幹事
原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0665 「RFIDのサプライチェーンへの適用—輸送単位」原案作成委員会幹事
原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0666 「RFIDのサプライチェーンへの適用—製品梱包」原案作成委員会幹事
原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0667 「RFIDのサプライチェーンへの適用—製品タグ付け」原案作成委員会幹事
原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-1 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第一部 個別の輸送単位」原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-2 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第二部 登録手順」原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-3 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第三部 共通規則」原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-4 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第四部 個別の製品及び包装物」原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-5 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第五部 個別の繰り返し利用輸送機材」原案作成分科会 委員
- 2017 JIS-X0532-6 「情報技術—自動認識及びデータ取得技術—ユニーク識別第六部 集合品」原案作成分科会 委員

(7) 業界規格作成

- 1994 (社)日本電子工業振興協会(JEIDA)規格 JEIDA-47-1994
「バーコードシンボル—コード128—基本仕様」原案作成委員会委員長
- 2004 (社)電子情報技術産業協会(JEITA)規格 JEITA EM-3601A「高純度多結晶シリコン標準品規格」
作成委員会委員長
- 2010 (社)日本自動車工業会(JAMA)/(社)日本自動車部品工業会(JAPIA)規格
「リターナブル輸送資材識別のための国際ガイドライン」プロジェクトエディタ
- 2011 (社)日本自動車工業会(JAMA)規格
「Global Radio Frequency Identification (RFID) Item Level Standard」委員

(8) 報告書作成

- 1992 (社)日本電子工業振興協会「バーコードに関する利用実態調査報告書」作成委員会委員長
- 1994 (社)日本電子工業振興協会規格 JEIDA-47-1994「バーコードシンボル—コード128—基本仕様」
作成委員会委員長
- 1996 (社)日本電子工業振興協会「入力装置に関する調査報告書」作成委員会協力者
- 1996 (財)流通システム開発センター「出版バーコードの課題と展望」作成委員会事務局
- 1997 (社)日本電子工業振興協会「入力装置に関する調査報告書」作成委員会協力者
- 1997 (財)日本情報処理開発協会「EDIにおける2次元コードの利用に関する調査報告書Ⅰ」作成委員会副委員長
- 1998 (社)日本電子工業振興協会「入力装置に関する調査報告書」作成委員会委員長
- 1998 (財)日本情報処理開発協会「EDIにおける2次元コードの利用に関する調査報告書Ⅱ」作成委員会副委員長
- 1999 (社)日本電子工業振興協会「ADC技術の標準化に関する調査報告書」作成委員会委員長
- 1999 (社)日本電子工業振興協会「RFID欧州視察報告書」作成委員
- 1999 (財)日本情報処理開発協会「ADCメディアに関する調査報告書」作成委員会副委員長
- 1999 (社)日本ロジスティクスシステム協会「輸送ラベル標準化基本方針報告書」作成委員会委員

- 1999 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベル関連海外標準化動向調査報告書」 作成委員会委員
- 1999 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベル関連国内標準化動向調査報告書」 作成委員会委員
- 1999 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベル利用実態報告書」 作成委員会委員
- 2000 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベル標準化検討報告書」 作成委員会委員
- 2000 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「米国産業界における輸送ラベル標準化動向調査報告書」
作成委員会委員
- 2000 (財) 日本情報処理開発協会 「ADC メディアに関する調査報告書Ⅱ」 作成委員会副委員長
- 2000 (社) 日本電子工業振興協会 「物流用無線 IC タグの標準化報告書」 作成委員会委員
- 2000 (社) 日本電子工業振興協会 「物流用無線 IC タグの標準化補足説明書」 作成委員会委員
- 2001 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベル標準化検討報告書」 作成委員会委員
- 2001 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「輸送ラベルに関わるビジネスモデル検討報告書」 作成委員会委員
- 2001 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 「高度物流情報化システム開発事業報告書」 作成委員会委員
- 2001 (財) 流通システム開発センター 「二次元シンボル SCM ガイドライン」 作成研究会委員
- 2001 (財) 自動車走行電子技術協会 「貨物輸送への ITS 応用に関する調査研究報告書」 作成タスクフォース委員
- 2002 (社) 日本自動認識システム協会 「耐環境性、金属貼付可能 RFID 及びその読取書込機の開発報告書」
作成委員会委員
- 2003 (社) 日本自動認識システム協会 「耐環境性、金属貼付可能 RFID 及びその読取書込機の開発報告書」
作成委員会委員
- 2003 経済産業省 「商品トレーサビリティの向上に関する研究会中間報告書」 作成委員会委員
- 2003 (財) 自動車走行電子技術協会 「トラック輸送への ITS 応用に関する調査研究報告書」 作成委員会委員
- 2003 トラック輸送標準化ビジネスチーム 「トラック輸送標準化ビジネスチーム提案書」 作成委員会委員
- 2003 (財) 流通システム開発センター 「アパレル流通における RFID の活用」 作成委員会委員
- 2003 (社) 日本自動認識システム協会 「ダイレクトマーキング導入ガイドライン」 作成委員会委員長
- 2003 (社) 日本自動認識システム協会 「誘導式読み書き通信設備 (RFID) 運用ガイドライン」 作成委員会委員長
- 2003 (財) 日本規格協会 情報経済基盤整備 「国際的な貨物輸送管理の高度情報化基盤整備事業」 作成委員会委員
- 2003 (社) 自動認識システム協会 基準認証研究開発事業 「製品、部品への二次元シンボルのダイレクトマーキング
及び自動読取技術の標準化」 平成 15 年成果報告書 作成委員会委員長
- 2004 (財) 流通システム開発センター 経済産業省委託事業 次世代物流効率化研究開発事業
「流通業界における RFID ロードマップ」 作成委員会委員
- 2004 (独) 理化学研究所、中小企業基準認証研究開発事業 「RFID (無線 IC タグ) リライト複合媒体タグの標準化 成果報告書」 作成委員会幹事
- 2004 (財) 日本自動車研究所 「ERI (EVI) 応用サービスと標準化項目に関する調査研究報告書」 作成委員会委員
- 2004 (財) 日本規格協会 情報経済基盤整備 「国際的な貨物輸送管理の高度情報化基盤整備事業」 作成委員会委員
- 2004 (株) 野村総合研究所 エネルギー使用合理化標準化調査 「国際複合一貫輸送における
貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究」 成果報告書 作成委員会委員
- 2004 (社) 自動認識システム協会 基準認証研究開発事業 「製品、部品への二次元シンボルの
ダイレクトマーキング及び自動読取技術の標準化」 平成 15 年成果報告書 作成委員会幹事
- 2005 (社) 電子情報技術産業協会 「端末装置に関する調査報告書」 作成委員会アドバイザー
- 2005 国土交通省 「混載貨物等における電子タグの利活用に関する調査研究」 成果報告書 作成委員会アドバイザー
- 2005 (独) 理化学研究所 中小企業基準認証研究開発事業 「RFID (無線 IC タグ) リライト
複合媒体タグの標準化 成果報告書」 作成委員会幹事
- 2005 (社) 自動認識システム協会 基準認証研究開発事業 「製品、部品への二次元シンボルの
ダイレクトマーキング及び自動読取技術の標準化」 平成 16 年成果報告書 作成委員会幹事
- 2005 (社) 自動認識システム協会 基準認証研究開発事業 「生体情報による個人識別技術
(バイオメトリクス) を利用した社会基盤構築に関する標準化成果報告書」 作成委員会幹事
- 2005 電子商取引推進協議会 「トレーサビリティ実現のための情報共有ニーズ分析調査報告書」 作成委員会委員
- 2006 (社) 電子情報技術産業協会 「端末装置に関する調査報告書」 作成委員会委員
- 2006 (社) 電子情報技術産業協会 経済産業省委託事業発事業 「電子、電機業界における
電子タグを活用したトータルトレーサビリティ実証実験報告書」 作成委員会委員
- 2006 (社) 自動認識システム協会 基準認証研究開発事業 「製品、部品への二次元シンボルの
ダイレクトマーキング及び自動読取技術の標準化」 平成 15~17 年成果報告書 作成委員会幹事
- 2006 国土交通省 港湾局港湾経済課 「電子タグを活用した国際コンテナ物流のセキュリティ強化
及び物流効率化に関する検討調査報告書」 作成委員会委員
- 2006 (社) 日本規格協会 「国際複合一貫輸送における貨物等の緯度・経度の位置情報の標準化調査研究成果報告書」
作成委員会委員
- 2007 (社) 日本自動認識システム協会 「JAISA ビジョン 2010 年作成プロジェクト」 作成委員会委員
- 2007 (社) 日本自動認識システム協会 「書き換え可能な目視媒体の標準化報告書」 作成委員会委員
- 2007 (社) 電子情報技術産業協会 「RFID モデルウェアの標準化報告書」 作成委員会委員
- 2007 (財) 国際情報化協力センター 「アジア諸国における国際標準の適用性等調査報告書」 作成委員会委員
- 2007 (社) 日本航空宇宙工業会 「ライフサイクル管理における航空機搭載装備品自動識別の動向調査報告書」
作成委員会委員

- 2007 (社) 日本航空宇宙工業会「航空機産業における電子タグ活用実証実験調査報告書」作成委員会委員
- 2007 次世代電子商取引推進協議会「電子タグ利活用の企業間情報共有基盤構築報告書」作成委員会委員
- 2008 (財) 国際情報化協力センター「アジア諸国における国際標準の適用性等調査報告書」作成委員会委員
- 2009 (社) 日本自動認識システム協会「RFID 機器が植込み型医療機器に及ぼす影響の評価試験方法に関する標準化報告書」作成委員会委員
- 2010 (財) 国際情報化協力センター「アジア諸国における二次元シンボルを使ったサプライチェーンに関する調査研究報告書」作成委員会オブザーバ
- 2010 (社) 日本自動認識システム協会「リライタブルハイブリッドメディアの調査研究報告書」作成委員会幹事
- 2010 (社) 日本自動認識システム協会「国際複合一貫輸送における商用車及び貨物等の車載器を活用した APR プロファイル標準化事業報告書」作成委員会幹事
- 2010 (一社) 日本自動認識システム協会「リターナブル容器へのダイレクトマーキングに関する標準化」作成委員会幹事
- 2010 (一社) 日本自動認識システム協会「データキャリア活用ガイドラインの標準化報告書」作成委員会幹事
- 2011 (一社) 日本自動認識システム協会「物流用データキャリアインターフェイス報告書」作成委員会幹事
- 2012 (一社) 日本自動認識システム協会「樹脂プレートへのダイレクトマーキングに関する標準化報告書」作成委員会幹事
- 2012 (一社) 日本自動認識システム協会「海上コンテナトラッキングシステムに関する標準化に係る FS」作成委員会委員
- 2012 流通研究社 物流・MHS 機器標準化を進める会「物流・MHS 機器標準化推進調査報告書」作成委員会委員
- 2013 みずほ情報総研「RFID 情報の標準化による物流の効率化報告書」作成委員会委員
- 2013 みずほ情報総研「物流情報システムの連携、物流情報の可視化による物流の効率化報告書」作成委員会委員
- 2014 (公社) 日本ロジスティクスシステム協会「RFID 情報の標準化による物流の効率化調査報告書」作成委員会委員
- 2014 (公社) 日本ロジスティクスシステム協会「物流情報システム連携、物流情報の可視化による物流の効率化調査報告書」作成委員会委員
- 2015 (一社) 日本自動認識システム協会「金属製循環型物流機材 (RTI) 用 RFID に関する国際標準化 フィジビリティスタディ成果報告書」作成委員
- 2016 (一社) 日本自動認識システム協会「金属製循環型物流機材 (RTI) 用 RFID に関する国際標準化成果報告書」作成委員
- 2017 (一社) 日本自動認識システム協会「金属製循環型物流機材 (RTI) 用 RFID に関する国際標準化成果報告書」作成委員
- 2018 (一社) 日本自動認識システム協会「金属製循環型物流機材 (RTI) 用 RFID に関する国際標準化成果報告書」作成委員

[4] 栄誉

(1) 栄誉

- 1987 日本電装 (株) より勤続 15 年表彰を受ける。(昭和 62 年 1 月 6 日)
- 1999 AIM インターナショナルからその功績に対し表彰される。
- 2001 (株) デンソーより勤続 30 年表彰を受ける。(平成 13 年 12 月 16 日)
- 2002 (株) デンソーより転籍 (DW) にあたり感謝状を授与される。(平成 14 年 12 月 31 日)
- 2002 (一社) 情報処理学会より QR コードの普及に対し、業績賞を受賞。(平成 14 年 5 月 20 日)
- 2003 (一社) 日本自動認識システム協会から、長年の功績に対し表彰される。(平成 15 年 5 月 14 日)
- 2003 世界の自動認識業界への貢献が認められ、AIDC 100 のメンバーとなる。(平成 15 年 11 月 3 日)
- 2004 平成 16 年度工業標準化事業功労者に対する経済産業大臣表彰を受賞。(平成 16 年 10 月 12 日)
- 2006 (一社) 日本情報処理学会/情報規格調査会から標準化功績賞を受賞。(平成 18 年 7 月 24 日)
- 2011 (株) デンソーウェブより再雇用契約満了に付き感謝状授与される。(平成 23 年 8 月 13 日)
- 2012 (一財) 流通システム開発センターから、長年の功績に対し表彰される。(平成 24 年 1 月 12 日)
- 2014 (株) デンソーウェブから、QRコード 20 周年と欧州発明者賞受賞記念式典において、QRコードの標準化チームとして表彰される。
- 2017 平成 29 年度工業標準化事業功労者に対する内閣総理大臣表彰を受賞。(平成 29 年 10 月 23 日)
- 2018 岡崎市産業功績者表彰を受賞 (平成 30 年 7 月 1 日)

(2) 栄誉紹介

- 2002.07 デンソーウェブ社報「なみのみち」N010 「業績賞」受賞 (情報処理学会)
- 2003.06 デンソーウェブ社報「なみのみち」N020 表彰式 (自動認識システム協会)
- 2004.11 デンソーウェブ社報「なみのみち」N038 経済産業大臣賞受賞
- 2004.12 デンソー社報「デンソー時報」N0608 経済産業大臣賞受賞
- 2005.09 デンソーウェブ社報「なみのみち」N048 NHK スペシャルに出演

- 2006.09 デンソーウェーブ社報「なみのみち」N060 標準化功績賞 受賞
- 2006.09 情報処理学会/情報規格調査会「情報技術標準」N071 標準化功績賞 受賞
- 2012.02 流通研究社 マテリアルフロー2月号 No623 流通システム開発センター 感謝状
- 2012.03 流開センターニュース 第180号 感謝状
- 2012.04 (一社)日本自動認識システム協会 会報JAISA 2012春号 Vol.13/No.3
流通システム開発センターから感謝状
- 2017.12 流通研究社 マテリアルフロー12月号 2017 Dec No693 工業標準化事業表彰
「内閣総理大臣表彰」
- 2017.12 日本工業出版 月間自動認識 12月号 2017 vol.30 no.14 工業標準化事業表彰
「内閣総理大臣表彰」
- 2017.12 FM岡崎「キラキラきらり 輝く岡崎人」内閣総理大臣表彰
2017-12-28 7:45~7:55、10:15~10:25、12:15~12:25、18:45~18:55
- 2018.01 (一社)電子情報産業協会 JEITAだより2017冬vol24 平成29年度「工業標準化事業表彰」
- 2018.02 悠紀第47号 同窓会記念講演紹介「QRコードのあらましとその応用」
- 2018.03 岡崎市地域交流センター六ツ美分館情報誌 悠紀の里 「世界標準の立役者」
- 2018.06 東海愛知新聞(2018.06.29)「岡崎市政施行102周年記念式で、53人・7団体を表彰」
- 2018.07 岡崎市市政だより「おかざき」No.1339(2018.07.01)「岡崎市政施行102周年」

(3) 活動紹介

- 2018.12 むつみ地域包括支援センター/南部地域包括支援センター 六ツ美まるごと交流会
(六ツ美南部学区を代表して「世代間交流について発表」)

[5] 出版

- 1995 共著 ANSI X 3.182 バーコードシンボルの品質評価基準（日本規格協会）
- 2003 共著 ユビキタス社会のRFIDタグ徹底解説（電子ジャーナル）
- 2003 共著 これでわかったRFID（オーム社）
- 2004 共著 これでわかった2次元シンボル（オーム社）
- 2004 共著 RFタグの開発と応用Ⅱ（シーエムシー出版）
- 2005 共著 RFIDトレンドブック（流通研究社）
- 2005 共著 自動認識システムの基礎知識（オーム社）
- 2005 共著 これでわかったRFID（オーム社）中国語版
- 2008 共著 よくわかるRFID（オーム社）
- 2010 共著 よくわかるバーコード・2次元シンボル（オーム社）
- 2014 共著 よくわかるRFID（オーム社）改訂版

[6] 新聞掲載/テレビ放映/ラジオ

- 2002.08.15 流通&コンピュータ（流通情報ラベル社）
第4回自動認識総合展＝特集座談会 これからのRFID技術動向
- 2002.10.27 日本経済新聞社 第一面「産業力」ジャパンモード
- 2004.03.12 電波新聞
JEITA 実用化への実証実験紹介
ICタグとユビキタス東京で実践セミナー
- 2004.03.16 電波新聞 ICタグ利用世界に広がる
- 2004.11.01 東京新聞 この模様なに？どう使うの？2次元コード
- 2005.05.05 経済産業新報 ICタグ（RFID）の現状と今後の展望
- 2005.08.28 NHKスペシャル 日本の群像 再起への20年 第4回 極小コンピュータ技術者たちの攻防
- 017.12.28 FM岡崎「キラキラきらり 輝く岡崎人」内閣総理大臣表彰紹介
7:45～7:55、10:15～10:25、12:15～12:25、18:45～18:55
- 2018.03.03 中日新聞「柴田彰氏 QRコード 開発語る」

[7] 資格取得・課程修了・会員

- 1969.06.13 電話級アマチュア無線技士資格取得
- 1969.10.01 自動車普通運転免許取得
- 1971.01.26 特殊無線技士レーダ、
- 1971.04.01 大阪府教育委員会 高等学校教諭二級普通免許取得 「工業」
- 1971.04.01 大阪府教育委員会 中学校教諭一級普通免許取得 「職業」
- 1978.10.06 四級小型船舶操縦士免許取得
- 1980.06.27 産業訓練協会「管理訓練計画」講座終了
- 1983.11.20 救急再圧員資格取得
- 1984.03.18 ADS 2スターダイビングインストラクター資格取得
- 1984.05.15 潜水土資格取得
- 1984.11.14 NAUI ダイビングインストラクター資格取得
- 1985.02.03 NAUI ライフセーバーインストラクター資格取得
- 1985.02.11 CMAS 2スターダイビングインストラクター資格取得
- 1985.04.15 JP（日本職業潜水土協会）ダイビングインストラクター資格取得
- 1986.04.21 日本赤十字救急法講習終了
- 1986.06.29 日本メディックアラート国際協会エマージェンシーメディカルアシスタント
認定講習試験（救急心肺蘇生法）終了
- 1986.09.15 日本メディックアラート国際協会救急心肺蘇生法インストラクター資格取得
- 1988.05.04 CMAS 3スターダイビングインストラクター資格取得
- 1988.07.24 国際救命救急協会 テーピングトレーナー課程修了
- 1993.03.15 ADS 3スターダイビングインストラクター資格取得
- 1996.01.01 情報処理学会会員
- 1996.12.13 ISO 9000 内部監査員資格取得
- 2019.04.01 自動認識技術者資格認定講師

[8] 寄稿/座談会/セミナー

(1) 情報処理学会 / 情報規格調査会 機関誌「情報技術標準」

1996.09	No. 31	SC31総会報告
1997.06	No. 34	SC31総会報告
1997.06	No. 34別冊	SC31専門委員会報告
1998.03	No. 37	SC31総会報告
1998.12	No. 40	SC31総会報告
1999.06	No. 42別冊	SC31専門委員会報告
1999.09	No. 43	SC31総会報告
2000.06	No. 46	SC31総会報告
2000.06	No. 46別冊	SC31専門委員会報告
2001.06	No. 50別冊	SC31専門委員会報告
2001.09	No. 51	SC31総会報告
2003.06	No. 58別冊	SC31専門委員会報告
2003.09	No. 59	SC31総会報告
2004.06	No. 62別冊	SC31専門委員会報告
2005.07	No. 66別冊	SC31専門委員会報告
2006.07	No. 70別冊	SC31専門委員会報告
2006.09	No. 71別冊	声のページ「SC31の活動を振り返って」
2007.07	No. 74別冊	SC31専門委員会報告
2009.07	No. 82別冊	SC31専門委員会報告
2010.07	No. 86別冊	SC31専門委員会報告
2011.07	No. 90別冊	SC31専門委員会報告

(2) JAISA 機関誌 エーアイエムジャパン「えいむ」/日本自動認識システム協会「JAISA」

1998.02	Vol. 06/No. 1	新春座談会「エー・アイ・エム・ジャパン委員会のあり方と展望」
1998.05	Vol. 06/No. 2	リオデジャネイロ SC31総会報告
1999.05	Vol. 01/No. 1	座談会「今後の方向と期待を語る」
2000.02	Vol. 01/No. 4	座談会「V21プロジェクトと中長期計画」
2003.03	Vol. 04/No. 4	ダイレクトマーキング研究会活動ーその1
2003.06	Vol. 05/No. 1	ダイレクトマーキング研究会活動ーその2
2004.01	Vol. 05/No. 3	RFIDの現状と課題2
2004.09	総合展特別号	「社会インフラのキーテクノロジーとして高まる重要性」
2005.04	Vol. 07/No. 1	バーコードの課題と展望1
2005.09	総合展特別号	「自動認識技術の現状と今後の展望」
2006.09	総合展特別号	「自動認識技術の特質と標準化」
2007.09	総合展特別号	「自動認識技術の特質と今後の展望」
2008.09	JAISA NOW Vol1	「自動認識技術のトレンド」
2009.09	JAISA NOW Vol2	「どうしたらRFIDはブレイクするか」
2010.04	Vol. 12/No. 1	自動車業界のリライタブルハイブリッドメディア活用事例
2010.09	JAISA NOW Vol3	「JAISA/AIMJの標準化活動」
2012.04	春号 Vol. 13/No. 3	流通システム開発センターから感謝状

(3) 日本工業出版「月刊バーコード」/「月刊自動認識」

1994.02	2月増刊号	標準バーコードの特性 コード128
1996.11	Vol. 09/No. 13	JTC1 SC31の概要
1998.01	Vol. 11/No. 01	SC31標準化活動について
1998.05	Vol. 11/No. 06	自動認識技術の国際標準化最新動向
2003.02	Vol. 16/No. 02	RFIDシステムの未来
2004.09	Vol. 17/No. 10	RFIDの動向と「月刊自動認識」誌への期待
2005.08	Vol. 18/No. 09	ダイレクトマーキングの最新状況 第一回ダイレクトマーキングの必要性和現状
2006.08	Vol. 19/No. 10	自動認識8月増刊号「Auto-ID活用状況と今後の方向/課題」
2008.09	Vol. 21/No. 11	自動認識技術に期待する
2010.01	Vol. 23/No. 01	別冊 RFIDシステム導入に失敗しないための知識
2012.11	Vol. 25/No. 13	世界の自動車業界識別規格の動向 第1回 サプライチェーンの高度化
2012.12	Vol. 25/No. 14	世界の自動車業界識別規格の動向 第2回 「リターンブル輸送資材の識別規格」の概要
2013.01	Vol. 26/No. 01	世界の自動車業界識別規格の動向 第3回 「部品レベルのRFID規格」の概要
2013.02	Vol. 26/No. 02	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法 第1回サプライチェーンモデル
2013.03	Vol. 26/No. 04	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法 第2回サプライチェーンに関する国際規格
2013.04	Vol. 26/No. 05	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法 第3回データキャリアの標準化
2013.05	Vol. 26/No. 06	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法 第4回物品識別

2013.06	Vol. 26/No. 07	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第5回一次元/二次元シンボルへのデータ格納方法
2013.07	Vol. 26/No. 08	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第6回RFID・リライタブルハイブリッドメディアへのデータ格納方法
2013.08	Vol. 26/No. 09	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第7回リーダからの送信データ構造
2013.09	Vol. 26/No. 10	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第8回データキャリアシステムとミドルウェア
2013.10	Vol. 26/No. 12	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第9回サプライチェーンの階層と一次元/二次元シンボル
2013.11	Vol. 26/No. 13	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第10回サプライチェーンの階層とRFID
2013.12	Vol. 26/No. 14	サプライチェーンにおけるデータキャリアの利用法	第11回サプライチェーンモデルの構造とRFIDへの提言
2014.01	Vol. 27/No. 01	QRコードの国際標準化	第1回 はじめに「かんぱん」があった
2014.02	Vol. 27/No. 02	QRコードの国際標準化	第2回 機は熟した
2014.03	Vol. 27/No. 03	QRコードの国際標準化	第3回 どう取り組んだか
2014.04	Vol. 27/No. 04	QRコードの国際標準化	第4回 インターナショナルニーズはどこに
2014.05	Vol. 27/No. 06	QRコードの国際標準化	第5回 JIS提案かAIMI提案か
2014.06	Vol. 27/No. 07	QRコードの国際標準化	第6回 勝利者はだれか
2014.07	Vol. 27/No. 08	QRコードの国際標準化	第7回 一本化か別規格か
2014.08	Vol. 27/No. 09	QRコードの国際標準化	第8回 新分野はどこに
2014.09	Vol. 27/No. 10	QRコードの国際標準化	第9回 モバイルQRコードはブレイクするか
2014.10	Vol. 27/No. 11	QRコードの国際標準化	第10回 米国国防総省の物流は迅速化したか
2014.11	Vol. 27/No. 12	QRコードの国際標準化	第11回 標準は無料かそれとも有料か
2014.12	Vol. 27/No. 13	QRコードの国際標準化	第12回 QRコードは前途洋々か
2015.01	Vol. 28/No. 01	サプライチェーン用RFID規格の概要	第1回 RFIDをどう使うか?
2015.02	Vol. 28/No. 02	サプライチェーン用RFID規格の概要	第2回 ハードルはなにか:ユニークなコード
2015.03	Vol. 28/No. 03	サプライチェーン用RFID規格の概要	第3回 ハードルはなにか:物流情報システム
2015.04	Vol. 28/No. 04	サプライチェーン用RFID規格の概要	第4回 ハードルはなにか:RFIDのミドルウェア
2015.05	Vol. 28/No. 05	サプライチェーン用RFID規格の概要	第5回 ハードルをどう超えるか
2015.06	Vol. 28/No. 06	サプライチェーン用RFID規格の概要	第6回 利用者はどう認識しているか
2015.07	Vol. 28/No. 07	サプライチェーン用RFID規格の概要	第7回 誰がどういうデータを読むのか
2015.08	Vol. 28/No. 08	サプライチェーン用RFID規格の概要	第8回 どのように国際規格をつかうのか
2015.09	Vol. 28/No. 09	サプライチェーン用RFID規格の概要	第9回 国際規格はどのように解釈するのか
2015.10	Vol. 28/No. 10	サプライチェーン用RFID規格の概要	第10回 RFタグはどのように制御するのか
2015.11	Vol. 28/No. 11	サプライチェーン用RFID規格の概要	第11回 具体的にどのようなデータをいれるのか
2015.12	Vol. 28/No. 12	サプライチェーン用RFID規格の概要	第12回 理想のリーダライタの機能は
2018.03	Vol. 31/No. 03	自動車産業用金属輸送容器のRFID管理	第1回 RFID導入のために何をすべきか
2018.04	Vol. 31/No. 04	自動車産業用金属輸送容器のRFID管理	第2回 RFIDのミドルウェアは使えるのか (RFID導入のハードル1)
2018.05	Vol. 31/No. 06	自動車産業用金属輸送容器のRFID管理	第3回 ユニーク性は保証されているのか (RFID導入のハードル2)
2018.06	Vol. 31/No. 07	自動車産業用金属輸送容器のRFID管理	第4回 どんな金属RFIDがあるのか

(4) 流通研究社「マテリアル フロー」

2000.09	No. 486	緊急座談会「いよいよ国際規格普及へ、標準物流梱包ラベルISO 15394」
2001.09	No. 498	キーマン座談会「自動認識技術で生産・物流のトレーサビリティ確保」
2003.06	No. 519	セミナープログラム案内「ユビキタス時代を拓くRFID技術と標準化の展望」
2003.09	No. 522	テーマ座談会「トレーサビリティ実現支える自動認識技術の可能性と課題」
2005.04	No. 541	「トレーサビリティの高度化に不可欠、自動認識技術の国際標準化」
2005.09	No. 546	「自動認識技術の総合力で、究極のサプライチェーン管理実現」
2005.10	No. 547	第4回 日中韓物流技術交流会レポート
2005.10	No. 547	第4回 日中韓物流技術交流会「代表メンバー座談会」
2007.05	No. 566	「究極のサプライチェーン管理とは:自動認識技術・国際標準化の“今”」
2012.02	No. 623	「流通システム開発センター 感謝状」
2012.07	No. 628	「アジア・シームレス物流フォーラム2012」開催案内
2012.07	No. 628	「リライタブルかんぱんで生産物流を支援、エコと作業性向上を達成」
2012.07	No. 628	対談「企業発展と情報システムの進化」
2012.08	No. 629	「アジア・シームレス物流フォーラム2012」終了報告
2012.09	No. 630	対談「EDIとビジネスプロセスの連携」
2012.10	No. 631	対談「グローバル・ロジスティクスの見える化を情報システムで追求」

- 2012. 11 No. 632 対談「調達・輸配送から回収・リサイクル、循環型ロジスティクスで新たな価値」
- 2012. 12 No. 633 対談「国際サプライチェーン見える化へ、EDI標準はすでに用意されている」
- 2013. 01 No. 634 対談「業界横断・標準EDIでサプライチェーン見える化・競争力向上」
- 2013. 02 No. 635 対談「3PL活用に加え物流情報システム再構築で、標準化・全体最適へ」
- 2013. 02 No. 635 「アジア・シームレス物流フォーラム2013」開催案内
- 2013. 03 No. 636 対談「電機・電子業界のEDI標準化推進、国内最大の成功例を海外展開へ」
- 2013. 03 No. 636 「アジア・シームレス物流フォーラム2013」第1回企画・実行委員会報告
- 2013. 04 No. 637 「アジア・シームレス物流フォーラム2013」第2回企画・実行委員会報告
- 2013. 07 No. 640 「アジア・シームレス物流フォーラム2013」開催案内
- 2013. 08 No. 641 「アジア・シームレス物流フォーラム2013」終了報告
- 2013. 12 No. 645 「アジア・シームレス物流フォーラム2014」開催案内
- 2014. 01 No. 646 「アジア・シームレス物流フォーラム2014」第1回企画・実行委員会報告

(5) 流通研究社「無人化技術」

- 1992. 09 No. 390 座談会「ユニットロードシステムと自動認識技術」
- 1994. 12 No. 417 世界のバーコード規格化の現状と今後の課題について

(6) 電子情報技術産業協会機関誌

- 2004. 03 (社)電子情報技術産業協会「JEITAだより」第4号「電子タグの最新動向と将来展望」
- 2004. 06 (社)電子情報技術産業協会「JEITA Review」Vol5. No6 「電子タグ (RFタグの) RFID市場環境」
- 2006. 05 (社)電子情報技術産業協会「JEITA Review」Vol7. No5 「ISO/IEC JTC1 SC31 (AIDC) 京都会議の報告」

(7) 日経BP社「RFIDテクノロジー」

- 2006. 06 06月号「米国は9. 11で変わった、全調達で貼り付けへ」
- 2006. 07 08月号「ICタグ普及の礎になるアプリケーション規格の整備」
- 2006. 08 09月号「サプライチェーン上の多様な輸送単位を識別する」
- 2006. 09 10月号「3種類のアクティブ型ICタグで海上コンテナを識別・管理」
- 2006. 10 11月号「個品や個装に貼り付けるICタグは可能な範囲で統一」
- 2006. 11 12月号「サプライチェーン用ICタグのメモリ構造はGen2がベース」
- 2006. 12 01月号「サプライチェーン管理に必要な読み取り性能と今後の課題」

(8) 自動車走行電子技術協会/日本自動車研究所(2005～)

- 2003. 01 「ITSの標準化」2003「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2004. 01 「ITSの標準化」2004「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2005. 01 「ITSの標準化」2005「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2006. 01 「ITSの標準化」2006「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2007. 01 「ITSの標準化」2007「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2008. 01 「ITSの標準化」2008「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2009. 01 「ITSの標準化」2009「ISO/IEC JTC1 SC31の標準化活動」
- 2010. 01 「ITSの標準化」2010「サプライチェーン用RFIDの標準化と自動車業界」
- 2011. 01 「ITSの標準化」2011「サプライチェーン用RFIDの標準化と自動車業界」

- 2005. 01 Standardization of ITS 2005
- 2006. 01 Standardization of ITS 2006
- 2007. 01 Standardization of ITS 2007
- 2008. 01 Standardization of ITS 2008
- 2009. 01 Standardization of ITS 2009 Standardization of ISO/IEC JTC1 SC31
- 2010. 01 Standardization of ITS 2010 Standardization of RFID for Supply Chain and Automotive industry
- 2011. 01 Standardization of ITS 2011 Standardization of RFID for Supply Chain and Automotive industry

(9) 流通システム開発センター機関誌

- 2003. 04 流通とシステム No. 115 「2次元シンボルの現状と今後の課題について」
- 2004. 01 シス研レポート No. 284 「RFIDの標準化／利用動向と市場環境」
- 2007. 03 流通とシステム No. 130 「GS1標準とISO規格」

(10) 電子ジャーナル

- 2003. 06 電子ジャーナル第111号「RFIDタグ・関連システムの最新動向」取材協力
- 2005. 11 2006RFID技術ガイドブック「RFIDのアプリケーション・規格・標準化の動向」
- 2005. 11 2006RFID技術ガイドブック「RFIDの管理体系とその運用法」
- 2007. 11 2008RFID技術ガイドブック「RFIDのアプリケーション・規格・標準化の動向」
- 2007. 11 2008RFID技術ガイドブック「RFIDの管理体系とその運用法」

(11) その他

- 1992. 10 平成4年度全国ダンボール技術者大会 発表要旨集 「バーコードシステム運用上の留意点」
- 1997. 09 エーアイエムジャパン 第11回スキャンテックジャパン ガイドブック
「自動データ収集に関する標準化活動」

- 2000.07 (社)日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス情報化推進会議ニュースレター
クリップジャーナルVol. 3「視点」
- 2002.12 (株)デンソー 技術会報「サンドビット」12月号「自動認識技術による物品識別と製品の
ライフサイクル管理の最近事情」
- 2004.01 (社)日本MH協会 機関誌「MHジャーナル」No.236
「電子タグ(RFID)で進化するサプライチェーンマネジメント」
- 2004.01 (社)情報処理学会 高度交通システム2004シンポジウム論文集「RFタグの国際市場動向」
- 2004.02 (社)日本印刷技術協会 機関誌「ジャガットインフォ」No.390
「RFタグが作るユビキタス社会のインフラ」
- 2004.05 流通研究社 物流IT-IDハンドブック2004/2005「RFID技術の国際標準化;その現状・課題と今後の展望」
- 2004.08 (社)日本ロジスティクスシステム協会「ロジスティクスシステム」2004年8月号 第13巻第7号(通巻89号)
特集ITが拓げるロジスティクスの新たな可能性「グローバルSCMを担うRFIDを取り巻く最前線と将来展望」
- 2004.12 (株)ソフトパブリッシング「ネットワーク」,「7つのポイントで理解するRFID最新動向」
ポイント2「システム連携/ビジネスツール」ポイント4「周波数」、ポイント5「低価格」
- 2005.05 流通研究社 最新日本物流系統事例集「RFIDを使用した自動倉庫」
- 2005.08 (社)情報処理学会「情報処理 Vol146 No8 通巻486号 別刷」、「物の管理用RFID」
- 2005.09 (社)電気設備学会「電気設備学会誌 2005 Vol125 No9」、
「自動認識システムと関連法規、規格」
- 2005.09 (社)日本航空宇宙工業会会報「航空と宇宙」ISSN 1344-1760 2005.9
「航空産業とダイレクトマーケティング」
- 2006.09 (社)日本包装技術協会 機関誌「包装技術」Vol144 No.9、「わが国のRFID戦略と将来の
展望」
- 2006.09 システム規格社「ユビキ」No.1
「国際規格の使用はタダではない、日本企業に欠けている標準化戦略」
- 2007.05 (社)情報処理学会「情報処理 48巻5号」、標準化よもやま話「規格とダイビング」
- 2007.08 (社)日本自動認識システム協会「JAISA 2010年 ビジョン」
- 2007.11 (社)世界経済研究協会「世界経済評論 Vol150 No11」、ITビジネスの技術標準化と
知財戦略
- 2010.04 (社)情報処理学会/情報規格調査会 情報規格調査会50年史「SC31専門委員会」
- 2010.04 (社)情報処理学会 「デジタルプラクティクスVol.1 No.2」、「サプライチェーンにおけるデータキャリ
アの選択」
- 2010.10 (社)電気設備学会「電気設備学会誌 2010 Vol130 No10」、「認証技術の法規と標準」
- 2011.01 (財)日本規格協会「標準化と品質管理 2011年1月号 Vol.64 No.1」、「自動認識用語の標準化」
- 2013.02 自動車技術2013年Vol.67 No.2、「自動車業界における個品識別の標準化動向」

[9] WEB掲載

- 2003.11 (社)情報処理学会 平成13年度業績賞の表彰 2次元シンボル「QRコード」を利用した
情物一致手段の提供による企業の情報化、効率化
- 2004.08 日経BP社「無線ICタグ普及には日本の半導体製造技術が不可欠」
- 2004.09 CEATEC JAPAN 2004 News/Web Magazine
本邦初公開「電子タグ(RFID)」が生み出す新しい暮らし、新しい経済

[10] 講演/パネルディスカッション

(1) 日本自動認識システム協会自動認識技術者講習

(a) 基本技術者

- 2004.10.23 第01回自動認識基本技術者(東京)
- 2005.03.19 第02回自動認識基本技術者(東京)
- 2005.10.22 第03回自動認識基本技術者(東京)
- 2007.07.21 第05回自動認識基本技術者(東京)
- 2007.12.15 第06回自動認識基本技術者(東京)
- 2008.06.06 第07回自動認識基本技術者(東京)
- 2008.08.01 第08回自動認識基本技術者(大阪)
- 2008.12.05 第09回自動認識基本技術者(東京)
- 2009.06.06 第10回自動認識基本技術者(東京)
- 2009.07.25 第11回自動認識基本技術者(東京)
- 2009.12.11 第12回自動認識基本技術者(東京)
- 2010.06.04 第13回自動認識基本技術者(東京)
- 2010.08.06 第14回自動認識基本技術者(大阪)
- 2010.12.03 第15回自動認識基本技術者(東京)
- 2011.06.10 第16回自動認識基本技術者(東京)

- 2011. 09. 09 第17回自動認識基本技術者（東京）
- 2011. 11. 18 第18回自動認識基本技術者（東京）
- 2012. 07. 06 第19回自動認識基本技術者（東京）
- 2012. 11. 16 第20回自動認識基本技術者（東京）

(b) バーコード専門技術者

- 2006. 03. 04 第1回自動認識バーコード専門技術者（東京）
- 2007. 10. 13 第2回自動認識バーコード専門技術者（東京）
- 2009. 10. 10 第3回自動認識バーコード専門技術者（東京）
- 2013. 07. 19 第4回自動認識バーコード専門技術者（東京）
- 2018. 02. 16 第5回自動認識バーコード専門技術者（東京）

(c) RFID専門技術者

- 2006. 11. 18 第1回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2007. 11. 17 第2回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2008. 11. 08 第3回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2009. 11. 12 第4回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2010. 10. 28 第5回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2011. 12. 01 第6回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2012. 12. 06 第7回自動認識RFID専門技術者（東京）
- 2013. 11. 07 第8回自動認識RFID専門技術者（東京）

(2) 国内

- 1992. 10. 09 全国ダンボール技術委員会 平成4年度全国ダンボール技術者大会
「バーコードシステム運用上の留意点」
- 1994. 09. 29 エイアイエムジャパン第8回スキャンテックジャパン「世界のバーコード」
- 1997. 09. 19 エイアイエムジャパン第11回スキャンテックジャパン「自動データ収集に関する標準化活動」
- 1997. 11. 06 CALS推進協議会 CALS EXPO 1997「CALS/EDIにおける2次元コードの可能性」
- 1999. 06. 25 名古屋市経済局計量検査所セミナー「バーコードシステムと標準化戦略」
- 2001. 10. 23 (社)日本ロジスティクスシステム協会 中部ロジスティクス情報化研究会
「自動認識およびデータ取得技術に関する標準化活動」
- 2001. 11. 16 デンソーコミュニケーションフェア「自動認識およびデータ取得技術に関する標準化活動」
- 2002. 03. 08 日本経済新聞社 第18回流通情報システム総合展 RETAIL TECH「RFタグの標準化と進展状況」
- 2002. 04. 14 (社)日本包装技術協会セミナー東京「AIDC技術の標準化動向」
- 2002. 04. 16 (社)日本包装技術協会セミナー大阪「AIDC技術の標準化動向」
- 2002. 07. 05 (社)電子情報技術産業協会 AIDCセミナー冒頭挨拶
- 2002. 07. 10 (財)流通システム開発センター GCI研究会インテリジェントタギングWG「RFIDの国際標準化動向について」
- 2002. 07. 12 ITSジャパン パネルディスカッション「ITS物流分野における標準化の現状と課題」
- 2002. 09. 13 (社)日本自動認識システム協会 第4回自動認識総合展「国際標準からみた物品識別と業界動向」
- 2003. 03. 08 日本経済新聞社 第19回流通情報システム総合展 RETAIL TECH「RFIDの国際標準化と物品識別への利用」
- 2003. 03. 26 情報処理学会 第65回全国大会「自動認識技術の国際動向」
- 2003. 04. 14 (社)日本包装技術協会 第25回包装情報研究会「物品識別の国際動向」
- 2003. 04. 16 (社)日本包装技術協会 KPI会員フォーラム第1回例会「物品識別の国際動向」
- 2003. 04. 18 (財)自動車走行電子技術協会 第54回自動車高度情報化研究会「電子タグと物品識別への応用」
- 2003. 05. 22 電子ジャーナル 第58回エレクトロニクスジャーナル テクニカルシンポジウム
「RFIDタグのアプリケーション・規格・技術の最新動向」
- 2003. 06. 04 流通研究社 RFID特別セミナー「RFID技術の国際標準化の現状・課題と展望」
- 2003. 06. 18 SEMIダイトレーシングワークショップ「物品識別の国際動向と産業界での活用」
- 2003. 09. 11 (社)日本自動認識システム協会 第5回自動認識総合展「商品トレーサビリティとRFタグの市場動向」
- 2003. 09. 11 (社)日本自動認識システム協会 第5回自動認識総合展「ダイレクトマーケティング」
- 2003. 10. 07 (社)電子情報技術産業協会 シーテックジャパン「RFタグ/AIDC技術の国際標準化動向」
- 2003. 10. 16 (社)日本包装技術協会 第9回管理者／実務者・包装セミナー「今、なぜICタグ（荷札）が話題になっているのか？ 包装産業に及ぼす影響と国内外状況」
- 2003. 11. 04 フィンランド大使館 フィンランドe-logistics調査団「Sophistication of the Supply Chain Management」
- 2003. 11. 05 (社)高分子学会 第18回高分子エレクトロニクス研究会講座「ICチップ・リライタブル複合材料の展望」
- 2003. 11. 20 (株)三菱電機 三菱ビジネスソリューション最新動向セミナー「RFタグ/AIDC技術の国際標準化活動」
- 2003. 11. 27 (財)UFJベンチャー育成基金「RFIDをとりまく現状と未来」
- 2003. 12. 02 (社)日本自動車工業会 帳票分科会「RFIDが作るユビキタス社会のインフラ」
- 2003. 12. 04 (社)造船工業会「RFID/AIDC技術の国際標準化活動」

2003. 12. 10 (社)日本印刷技術協会 第30回JAGATトピック技術セミナー「電子タグ (RFID) が作る、ユビキタス社会のインフラ」
2003. 12. 24 (財)流通システム開発センター 第2回RFIDシステム調査研究会「RFIDに関する世界標準化の動向」
2004. 01. 15 (財)流通システム開発センター 第8回シス研定例セミナー「RFIDの標準化／利用動向と市場環境」
2004. 01. 16 (社)情報処理学会 高度交通システム研究会「RFタグの国際市場動向」
2004. 02. 13 (社)日本自動認識システム協会 第1回自動認識総合展大阪「RFIDの市場動向と標準化の現状」
2004. 02. 19 (社)船主協会 ISO TC104コンテナ委員会「AIDC技術の国際標準化活動」
2004. 02. 23 (財)新産業創造研究機構 第6回ICタグ・電子ID利用検討会「RFIDの標準化および利用動向と市場環境」
2004. 02. 27 (社)電子情報技術産業協会 第6回標準化総合委員会「自動認識及びデータ取得技術標準化委員会活動」
2004. 03. 03 日本経済新聞社 第20回流通情報システム総合展 RETAIL TECH パネルディスカッション「ユビキタス社会を支えるICタグの現状と課題」
2004. 03. 11 (社)電子情報技術産業協会 RFID実践セミナー「電子タグの国際動向」
2004. 03. 12 (社)日本航空宇宙工業会 ISO TC20国際規格委員会「自動認識概論及びISO TC20 WG13活動とISO WD21849」
2004. 04. 15 (社)日本自動認識システム協会 システム部会「RFIDの市場動向と標準化の現状」
2004. 05. 07 (社)日本航空宇宙工業会 意見交換会「自動認識概論及びISO TC20 WG13 活動とISO WG21849」
2004. 05. 25 (社)日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクスITフォーラム2004パネルディスカッション、「グローバルSCMを担うRFIDを取り巻く最前線と将来展望」講演「RFIDの市場および標準化動向」
2004. 05. 28 北川工業(株) KGS躍進会「電子タグの現状と今後の動向」
2004. 06. 04 (社)日本包装技術協会 第39期包装管理士講座 特別講演「ICタグ(電子荷札)は包装・物流にどのような影響を及ぼすのか」
2004. 06. 09 (社)日本航空宇宙工業会 意見交換会「自動認識概論及びISO TC20 WG13 活動とISO WG21849」
2004. 07. 13 (財)新産業創造研究機構 第2回電子タグ・電子シール利用研究会
「海上コンテナで使用される電子タグ・電子シールのISO規格の現状」
2004. 07. 22 (社)日本自動認識システム協会 リーダ部会「RFIDの市場動向と標準化の現状」
2004. 08. 27 日本工業出版 RFタグの正しい理解と最適利用「RFIDを取り巻く環境の正しい理解」
2004. 09. 16 (社)日本自動認識システム協会 第6回自動認識総合展セミナー 自動認識基礎トラック「標準化」
2004. 09. 16 (社)日本自動認識システム協会 第6回自動認識総合展セミナー RFID特別講演「ISO標準化について」
2004. 09. 28 電子ジャーナル 第87回テクニカルシンポジウム RFIDタグ・関連システム徹底検証
「RFIDタグ・関連システムの規格と世界の動向」
2004. 09. 28 電子ジャーナル 第87回テクニカルシンポジウム RFIDタグ・関連システム徹底検証
「RFIDタグの管理体系とその運用法」
2004. 10. 01 (財)日本情報処理開発協会シンポジウム「電子タグ(ICタグ)の普及に向けた展望」パネラー
2004. 10. 06 名古屋税関「物品識別の国際動向」
2004. 10. 08 GEATEC2004 RFID の動向「電子タグ (RFID) /AIDC技術の国際標準化活動」
2004. 10. 20 (社)電子情報技術産業協会 ハンディターミナル専門委員会「RFIDの標準化」
2005. 01. 20 第34回インターネットコンジャパン専門技術セミナー「RFIDタグシステムと国内外の最新動向」
2005. 02. 09 (財)新産業創造研究機構 港湾物流におけるICタグ利用に関する調査研究第2回委員会「RFIDの国際標準化動向」
2005. 02. 10 ISO TC204 WG7.2 国際標準化活動における専門家会議「トラッキング&トレーシングとRFIDの標準化動向」
2005. 04. 26 日本貿易振興機構(JETRO) 日韓中ビジネスフォーラム2005「RFIDの市場/国際標準の動向と今後の日韓国際協力について」
2005. 05. 26 広島国際大学 ユビキタス・ネットワークとデジタル技術シンポジウム2005「ユビキタス・ネット社会と無線タグ」
2005. 06. 14 (社)日本包装技術協会 第80回輸送包装懇話会「RFIDの市場/国際標準の動向と今後の展望」
2005. 06. 15 (財)日本自動車研究所 ERIビジネスチーム「TC104/TC122 JWG 物流システム検討の動きと課題」
2005. 09. 14 (社)日本自動認識システム協会 第7回自動認識総合展セミナー「RFIDの市場/国際動向と標準化」
2005. 09. 14 (社)日本自動認識システム協会 第7回自動認識総合展セミナー「ダイレクトマーキング」
2005. 09. 27 (社)日本パレット協会 ISO TC51 適正化委員会セミナー「RFIDのサプライチェーン規格」
2005. 09. 14 (株)ダイフク セミナー「RFIDの市場/国際動向と標準化」
2005. 10. 07 GEATEC2005 RFID の動向「電子タグ (RFID) の国際標準化動向」
2005. 11. 08 鳥取環境大学「自動認識技術と標準化」
2005. 11. 08 鳥取環境大学「RFIDの国際/市場動向と標準化」
2005. 11. 15 (社)日本自動車部品工業会 電子タグ研究会「RFID(電子タグ)の国際標準化動向」
2005. 11. 24 (財)食品産業センター 平成17年度セミナー「トレーサビリティと国際物品識別規格標準化の流れ」
2005. 11. 29 鳥取環境大学「2次元シンボル」
2005. 11. 29 鳥取環境大学「ダイレクトマーキング」
2005. 12. 13 新経営研究会「日本創出の革新的独自価値、その国際規格・標準への提案努力」
2005. 12. 22 (社)電子情報産業協会 理事会「電子 (RFID) タグが今後の産業界に与えるインパクト」
2006. 02. 09 電子ジャーナル 第39回 テクニカルセミナー「RFIDの国際標準化」

2006. 03. 15 (社)電子情報技術産業協会 RFIDセミナー「委員長挨拶」
2006. 03. 15 (財)中部生産性本部 物流管理研究部会「RFIDの国際標準化」
2006. 03. 22 (財)新産業創造研究機構 RFID. 電子シール研究会「RFIDの国際標準化」
2006. 04. 25 (社)電子情報技術産業協会 電子タグ実証実験推進特別委員会「RFIDの国際標準化」
2006. 05. 31 大阪市立大学大学院「バイオメトリクス」
2006. 06. 09 (社)日本包装技術協会 第41期包装管理士講座 総括科目「包装と自動認識」
2006. 07. 14 モダンホスピタルショウセミナー「HIBCのバーコード」
2006. 07. 24 (社)情報処理学会/情報規格調査会 情報技術標準化フォーラム「RFIDの国際標準化状況と市場動向」
2006. 09. 13 (社)日本自動認識システム協会 第8回自動認識総合展セミナー「RFIDを利用したアプリケーション規格」
2006. 09. 22 兵庫エレクトロニクス研究会 第1回RFID技術講演会「RFIDの技術/標準化/市場動向」
2006. 10. 04 CEATEC2006 「電子タグから次世代RFIDへ」
2006. 11. 10 (社)電子情報技術産業協会 認識形入力方式標準化G「AIDCの技術/標準化/市場動向」
2007. 01. 29 横浜税関教職員教養講演会「自動認識技術と国際物流の効率化/可視化」
2007. 02. 09 PAGE2007 コンファレンス「電子タグの課題と次世代電子タグの展望」
2007. 02. 15 (社)日本自動認識システム協会 第4回自動認識総合展大阪セミナー「サプライチェーンの効率化/トレーサビリティの確立」
2007. 03. 28 (社)日本自動車部品工業会 電子タグ標準検討グループ「RFIDのISO規格」
2007. 05. 16 RFIDソリューションEXPO 国際標準化動向と日本の取り組み「RFIDの国際市場・標準化最新動向」
2007. 05. 17 トリケップス UHF帯RFIDシステムの評価と干渉回避策 「UHF帯RFIDシステムの規格・実証実験・導入例」
2007. 05. 31 (社)日本自動認識システム協会 第2回自動認識総合展名古屋セミナー「自動認識技術を利用したサプライチェーンの効率化/トレーサビリティの確立」
2007. 05. 31 (社)日本自動認識システム協会 第2回自動認識総合展名古屋セミナー「自動認識技術を利用したサプライチェーンの効率化/トレーサビリティの確立」
2007. 07. 27 次世代電子商取引推進センター 第24回ECOMセミナー「国際標準ISO1736xの現状と今後の動向」
2007. 09. 11 千葉大学 標準化公開講座「自動認識及びデータ取得技術の国際標準化」
2007. 09. 12 第9回世界経済評論フォーラム「世界標準フォーラム」
2007. 10. 03 CEATEC2007「データキャリアの本質とRFIDを利用したサプライチェーン」
2007. 11. 30 (社)日本印刷学会 第4回紙メディアシンポジウム「自動認識システムにより付加されるパッケージのメディア機能」
2008. 02. 29 (社)日本自動車部品工業会 関西支部セミナー「RFID技術の概要」
2008. 03. 05 電子ジャーナルセミナー「RFIDの番号体系・管理体系とその運用法」
2008. 03. 05 電子ジャーナルセミナー「RFIDのアプリケーション・規格・標準化の動向」
2008. 03. 10 平成20年電気学会全国大会シンポジウム(福岡工業大学)「サプライチェーンでのRFID応用と今後の課題」
2008. 03. 10 2008年電子情報通信学会総合大会(早稲田大学福岡)「QRコードの国際標準化」
2008. 05. 16 (社)日本自動車工業会 JAIFワーキング「標準化概要 ISO/IEC JTC1 SC31」
2008. 07. 03 マーカスエバンスセミナー 商品開発におけるイノベーション「開発者に求められる資質—スピード短縮と高品質/高付加価値追求のジレンマ」
2008. 09. 30 CEATEC2008「RFIDの国際標準化の最新動向」
2008. 10. 29 上智大学市民講座「RFIDのしくみ」
2008. 11. 19 (社)日本自動認識システム協会座談会「JAISAの展望」
2008. 12. 02 (社)日本自動車部品工業会「RFID技術の概要」
2008. 12. 10 デンソーSIセミナー「自動認識市場の動向と今後の展望」
2008. 12. 11 デンソーSIセミナー「自動認識市場の動向と今後の展望」
2009. 03. 10 (社)日本包装技術協会セミナー「データキャリア利用ガイドラインWG活動」
2009. 04. 21 小林クリエイトセミナー「電子タグ(RFID)の国際規格と標準化活動」
2009. 07. 09 日本工業出版セミナー「RFIDの失敗しない運用法」
2009. 07. 16 (社)日本包装技術協会医薬品包装懇話会セミナー「医薬品業界と自動認識技術」
2009. 09. 14 日本郵便セミナー「サプライチェーンと自動認識技術」
2009. 09. 17 (社)日本自動認識システム協会RFID専門技術者フォローセミナー「国際標準化の最新動向」
2009. 10. 15 (社)日本自動車部品工業会 電子タグ標準検討グループ「データキャリアの国際標準化活動」
2009. 11. 11 (社)日本機械学会セミナー「RFIDの基礎と最新動向」
2009. 12. 15 日本郵便セミナー「サプライチェーンと自動認識技術」
2010. 01. 27 (株)デンソー 西尾工場冷熱生技セミナー「ダイレクトマーキング」
2010. 02. 03 トヨタ自動車(株)電子部生技セミナー「ダイレクトマーキング」
2010. 02. 09 一橋大学イノベーションセンターセミナー「QRコードの事業戦略」
2010. 06. 23 国土地理院場所情報コード委員会「サプライチェーンに於ける位置情報の活用」
2010. 09. 15 (社)日本自動認識システム協会 第12回自動認識総合展セミナー「JAISAの標準化活動」
2011. 08. 30 京三電機(株)「サプライチェーンと自動認識技術」

2011. 09. 26 (株)デンソー新事業推進部「自動認識市場の動向と認識技術のトレンド」
2011. 10. 26 (財)日本規格協会 物流標準懇話会「自動認識技術からみたサプライチェーンの効率化と輸送容器の扱い」
2011. 10. 28 (一社)日本自動認識システム協会 RFID専門委員会「自動車業界でのRFID標準とRFIDへの要求事項」
2012. 02. 06 (株)デンソー生産管理部「サプライチェーンの効率化と輸送容器の扱い」
2012. 02. 17 流通研究社 物流・MHS機器標準化を進める会「サプライチェーンの効率化と輸送容器の扱い」
2012. 06. 20 (一社)日本自動認識システム協会 RFID部会セミナー「サプライチェーンにおけるRFIDの使い方とJAISAの標準化活動」
2012. 07. 20 流通研究社 アジア・シームレス物流フォーラム「サプライチェーンの国際標準化—自動車業界に見るリターナブル容器(RTI)の個体管理運用システム」
2012. 09. 14 (一社)日本自動認識システム協会 第14回自動認識総合展セミナー「自動認識分野における事業戦略と標準化」
2012. 09. 24 流通研究社RCCサロンセミナー「自動認識技術のトレンド」
2012. 10. 30 日本包装学会セミナー「自動認識技術のトレンド」
2013. 02. 14 (一社)日本自動認識システム協会 第10回自動認識総合展大阪セミナー「世界の自動車業界のRFID識別規格」
2013. 03. 05 (株)デンソー生産管理部「世界の自動車業界のRFID識別規格」
2013. 04. 05 経済産業省中部経済局「世界の自動車業界のRFID識別規格」
2013. 04. 18 慶応義塾大学「サプライチェーンのみえる化」
2013. 07. 18 流通研究社 アジア・シームレス物流フォーラム「自動車部品業界におけるものと情報の標準化」
2017. 10. 23 経済産業省 工業標準化月間特別講演「QRコードの標準化と事業戦略」
2017. 10. 31 岡崎市立六ツ美南部小学校4年生講義「福祉委員の活動」
2018. 01. 25 次世代ロジスティクス研究会(早稲田大学)「サプライチェーンの課題とRFIDの適用」
2018. 03. 02 六ツ美中学校同窓会「QRコードの概要とその応用」
2018. 03. 05 (株)オブティマ「QRコードの概要とその応用」
2018. 03. 09 六ツ美南部小学校同窓会「QRコードのあらましとその応用」
2018. 09. 09 (株)ダイキンエンジニアリング「QRコードの概要とその応用」
2018. 09. 19 岡崎市社会福祉協議会 語ろう会「六ツ美南部小学校との世代間交流」
2018. 11. 01 岡崎市立六ツ美南部小学校4年生講義「福祉委員の活動」
2018. 11. 28 六ツ美まるごと交流会「世代間交流」
2018. 12. 01 愛知教育大学附属学校 技術・家庭科OB会 研修会講演「QRコードの概要とその応用」

(3) 海外

- 1998.10.29 China Beijing, China State Bureau of Technical Supervision "Activity of AIM & ISO"
2000.10.17 China Beijing, Scan-China 2000 "A Business Case Study - QR Code"
2000.10.19 China Xianyang, Article Numbering Center of China Xianyang Center Seminar "A Business Case Study - QR Code"
2001.10.10 China Beijing, Scan-China 2001 "The Possibility of 2D Symbol in Logistics"
2001.11.26 Vietnam Ho Chi Min, EAN-Vietnam Seminar "QR Code & Its Application Fields"
2001.11.28 Vietnam Hanoi, The 4th Vietnam Quality Conference "The Possibility of 2D Symbol in EDI and Logistics"
2002.06.20 China Guangzhou, South China Smart Card & Auto-Identification Tech Conference 2002 "Standardization Trend and Applications in Logistics Area"
2002.10.24 Singapore, The 5th Annual ECR Asia Conference & Exhibition Singapore 2002 "QR Code, The 2D Code and Its Applications in the Supply Chain Management for Tracking and Tracing"
2004.04.22 China Beijing, EPC Global China Establishment and 2004 China EPC & Internet of Things Summit Forum "RFID Application Case in Japan"
2004.06.16 China Dalian The Third China-Japan-Korea Forum on the Application of Technology and Equipment of Logistics, "Sophistication of Supply Chain Management"
2004.06.18 China Tenshin AIDC Seminar "The Latest Move in the AIDC Technology and Application"
2004.06.22 China Shanghai AIDC Seminar "The Latest Move in the AIDC Technology and Application"
2004.06.24 Vietnam Hanoi Workshop on Application of QR Code in Civil Servant's Management, "The Latest Move in the AIDC Technology and Application"
2004.09.03 Taiwan Taipei 2004 Communication International Conference "Market Trend of RFID and Current situation of Standardization"
2004.11.24 Swiss Geneve ILO "2D Symbols for ILO Application"
2005.06.01 China Shanghai The Forth China-Japan-Korea Forum on the Application of Technology and Equipment of Logistics, "The RFID Marketing and three countries cooperation"
2006.01.19 China Beijing IT Standardization technical interchange seminar "International Standardization for RFID"
2006.05.18 China Beijing International intelligent RFID, intelligent card user convention "International Standardization for RFID"
2006.11.03 Singapore 5th AFIT Asia Meeting "RFID-ISO&ISO/IEC Standards"
2007.02.02 China Beijing IT Standardization technical interchange seminar "RFID-ISO&ISO/IEC Standards "
2007.03.13 Korea Seoul REG Korea Conference "Current situation of RFID in Japan and REG activities"
2007.06.01 Japan Tokyo OECD Global Conference Session 1 "Innovation, R&D, Standards & Technology" "Global Logistics Platform Using IC Tag"
2007.10.22 Japan Tokyo 6th AFIT Asia Meeting "Global logistics platform using RF tags"
2007.10.29 Korea Seoul REG Korea Conference "Current situation of RFID in Japan"
2008.01.14 Kuala Lumpur Malaysia Conference for the Asia IT Standardization
2008.01.17 Thai Bangkok TOYOTA Motor Thailand "Applications of RFID"
2008.03.30 Thai Bangkok Automotive shows "Characteristics of Automotive Industry and using data carriers"
2008.10.28 China Shanghai The 6th International Conference of Material Handling "Denso Production method on Just In Time"
2009.02.23 Singapore GS1 Singapore "Experimental evaluation method for impact distance and mitigation method of Electromagnetic Interference (EMI) from RFID interrogators on active implantable medical devices"
2009.02.27 Australia Sydney GS1 Australia "Experimental evaluation method for impact distance and mitigation method of Electromagnetic Interference (EMI) from RFID interrogators on active implantable medical devices"
2009.03.06 China Beijing GS1 China "Experimental evaluation method for impact distance and mitigation method of Electromagnetic Interference (EMI) from RFID interrogators on active implantable medical devices"
2009.11.03 Malaysia Kuala Lumpur ISO/IEC JTC1 SC31 Malaysia "Mobile Phone and Data Capture Technology"
2009.11.04 Thai Bangkok NECTEC "Mobile Phone and Data Capture Technology"
2009.11.17 China Sanya KAHALA Board of Directors Meeting "Global logistics platform using data carrier for KAHALA"
2010.03.05 Thai Bangkok Ministry of Science and Technology "Market requirement and Trend of AIDC Techniques"
2010.04.15 Hong Kong International ICT Expo "Mobile commerce of QR code in Retail market"
2010.05.24 Singapore GS1 Mobile commerce "Mobile Data Carrier to Retail Application"

[11] 国際会議参加

- | | | |
|-----------------|---------|--------------------------------|
| 1995. 11. 06~07 | ニューヨーク | ISO/IEC JTC1 Ad Hoc (SC31) |
| 1996. 06. 17~20 | ブラッセル | ISO/IEC JTC1 SC31 |
| 1996. 08. 26~27 | アムステルダム | ISO/IEC JTC1 SC31 Ad Hoc (WG2) |
| 1996. 11. 04 | シカゴ | AIM 技術委員会 |
| 1996. 11. 07 | シカゴ | ISO/IEC JTC1 SC31 Ad Hoc (WG1) |
| 1996. 11. 08 | シカゴ | ISO/IEC JTC1 SC31 Ad Hoc (WG3) |
| 1997. 03. 11~13 | チューリッヒ | ISO/IEC JTC1 SC31 |

1997. 04. 22	シンガポール	AIMI 技術委員会
1997. 04. 23~24	シンガポール	AIMI 理事会
1997. 06. 23	ロンドン	AIMI 理事会
1997. 06. 24	ロンドン	AIMI 技術委員会
1997. 06. 25	ロンドン	AIMI RFID 委員会
1997. 08. 27~28	コペンハーゲン	ISO/IEC JTC1 SC31 Ad Hoc (WG4)
1997. 11. 19	ケルン	AIMI ヨーロッパ技術委員会
1997. 11. 20	ケルン	AIMI RFID 委員会
1997. 11. 21	ケルン	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
1998. 01. 22	マイアミ	AIMI 技術委員会
1998. 01. 24	マイアミ	AIMI 理事会
1998. 01. 26	リオデジャネイロ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
1998. 01. 27~29	リオデジャネイロ	ISO/IEC JTC1 SC31
1998. 01. 30	サンパウロ	EAN ブラジル
1998. 02. 02	サンパウロ	AIM ブラジル
1998. 03. 16	北京	EAN 中国
1998. 03. 18	ハノイ	EAN ベトナム
1998. 03. 20	マニラ	EAN フィリピン
1998. 03. 23	シンガポール	EAN シンガポール
1998. 06. 18	バーミンガム	AIMI アフリエイト会議
1998. 06. 19	バーミンガム	AIMI 理事会
1998. 06. 19	バーミンガム	AIMI 技術委員会
1998. 06. 22	バルセロナ	EAN スペイン
1998. 06. 23	アントワープ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 TF1
1998. 06. 25	アムステルダム	EAN ネザーランド
1998. 06. 26	ウィーン	EAN オーストリア
1998. 08. 26~28	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
1998. 08. 31~09. 02	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1
1998. 09. 01	東京	AIMI 技術委員会
1998. 10. 29	北京	中国国家品質技術監督局 (AIM 中国)
1998. 11. 04	パリ	AIMI RFID 委員会
1998. 11. 04	パリ	AIM ドイツ
1998. 11. 04	パリ	AIMI 理事会
1998. 11. 05	パリ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
1998. 11. 06	パリ	AIMI 技術委員会
1999. 05. 04	ブラッセル	国際郵便公社
1999. 05. 05	ブラッセル	EAN インターナショナル
1999. 06. 11	ソウル	SC31 韓国
1999. 07. 12	アトランタ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3 (非公式)
1999. 07. 13~15	アトランタ	ISO/IEC JTC1 SC31
1999. 10. 18	鎌倉	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3/WG4 SG3 JWG
1999. 10. 19~20	鎌倉	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
1999. 10. 21	鎌倉	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1
1999. 11. 17	ケルン	AIMI 技術委員会
1999. 11. 18	ケルン	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
1999. 12. 14	北京	EAN 中国 (ANCC)
2000. 04. 11~13	東京	ISO/IEC JTC1 SC31
2000. 04. 12	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG2/WG2 JWG
2000. 04. 13	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 ARP
2000. 09. 21~22	北京	EAN 中国
2000. 09. 26	シンガポール	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 ARP
2000. 09. 27~28	シンガポール	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
2000. 10. 31~11. 01	ニューアーク	ISO TC122 WG7
2001. 02. 08	オーランド	AIMI 理事会
2001. 02. 21~22	オーランド	ISO TC122 WG7
2001. 05. 14	エジンバラ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1 (非公式)
2001. 05. 15~16	エジンバラ	ISO/IEC JTC1 SC31
2001. 05. 17~18	ストックホルム	アポテケ
2001. 07. 11~12	ソウル	SC31 韓国
2001. 09. 09	大阪	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 ARP
2001. 09. 10~11	大阪	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4

2001. 11. 29~30	ハノイ	EAN ベトナム
2002. 01. 23~24	ホノルル	ISO TC122 WG7
2002. 05. 05	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3 SG1
2002. 05. 06	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
2002. 05. 07	東京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG3
2002. 06. 04	ベルリン	ISO TC122 WG7
2002. 12. 03~04	アトランタ	ISO TC122 WG7
2003. 03. 19~20	シドニー	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
2003. 03. 24~25	オークランド	ISO TC122/TC104 JWG
2003. 05. 12~13	パリ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG3
2003. 05. 14	パリ	ISO/IEC JTC1 SC31 プレミーティング
2003. 05. 14~15	パリ	ISO/IEC JTC1 SC31
2003. 07. 08~09	デンハーグ	ISO TC122/TC104 JWG
2003. 07. 10	デンハーグ	ISO TC122 WG7
2003. 10. 15~16	京都	ISO TC122/TC104 JWG
2003. 10. 23.	アトランタ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2004. 05. 10~11	ハンブルグ	ISO TC122/TC104 JWG
2004. 05. 12~13	ハンブルグ	ISO TC104 SC4 WG2
2004. 05. 19	オランダ	ISO/IEC JTC1 SC31 プレミーティング
2004. 05. 19~20	オランダ	ISO/IEC JTC1 SC31
2004. 06. 23~24	ハノイ	ベトナム政府
2004. 08. 17~18	モスクワ	ISO TC122/TC104 JWG
2004. 08. 19~20	モスクワ	ISO TC104 SC4 WG2
2004. 09. 03	台北	台湾政府
2004. 09. 21~22	札幌	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1
2004. 09. 23~24	札幌	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
2004. 09. 25~26	成田	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2004. 11. 24	ジュネーブ	ILO
2004. 12. 01~02	北京	ISO TC122/TC104 JWG
2004. 12. 03~04	北京	ISO TC104 SC4 WG2
2005. 02. 22~23	サンノゼ	ISO TC104 SC4 WG2
2005. 02. 24~25	サンノゼ	ISO TC122/TC104 JWG
2005. 03. 03~04	沖縄	ISO/IEC JTC1 SC31 WG5
2005. 03. 14	ブラッセル	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2005. 03. 15~16	ブラッセル	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
2005. 04. 19~20	シカゴ	ISO TC104 SC4 WG2
2005. 04. 21~22	シカゴ	ISO TC122/TC104 JWG
2005. 04. 26	東京	日韓中ハイテクビジネスフォーラム
2005. 06. 01~03	上海	第4回中韓日物流技術交流会
2005. 06. 09	シンガポール	ISO/IEC JTC1 SC31 プレミーティング
2005. 06. 09~10	シンガポール	ISO/IEC JTC1 SC31
2005. 07. 25~26	ベルリン	ISO TC104 SC4 WG2
2005. 09. 15	コロラドスプリング	RFID エキスパート グループ
2005. 09. 18~19	コロラドスプリング	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG3
2005. 09. 20	コロラドスプリング	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG5
2005. 09. 21~22	コロラドスプリング	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
2005. 09. 23	コロラドスプリング	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2005. 10. 18~19	名古屋	ISO TC104 SC4 WG2
2005. 10. 20~21	名古屋	ISO TC122/TC104 JWG
2006. 01. 09~10	Ft. ローダーディール	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
2006. 01. 09~10	Ft. ローダーディール	RFID エキスパート グループ
2006. 01. 11	Ft. ローダーディール	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1
2006. 01. 12	Ft. ローダーディール	ANSI MH10
2006. 01. 19	北京	IT標準化技術交流会 (CICC)
2006. 03. 06~07	ジェジュ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG1
2006. 03. 08~09	ジェジュ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG5
2006. 03. 13~14	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2006. 03. 14	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG3
2006. 03. 16	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1
2006. 03. 16	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1/WG2/WG3 JWG
2006. 03. 17	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4

2006. 05. 10~11	サンノゼ	ISO TC104 SC4 WG2
2006. 05. 18	北京	国際インテリジェントRFID、インテリジェントカードユーザ大会
2006. 05. 25~26	モスクワ	ISO/IEC JTC1 SC31
2006. 07. 26~28	シアトル	ISO TC122/TC104 JWG
2006. 07. 31	バンクーバ	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG5
2006. 08. 01~02	バンクーバ	RFID エキスパート グループ
2006. 09. 20	上海	DEVNET
2006. 11. 02~03	シンガポール	AFITシンガポール (CICC)
2006. 11. 27	ミュンヘン	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2007. 02. 02	北京	IT標準化技術交流会 (CICC)
2007. 02. 05~06	エクサンプロバンス	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4 SG1
2007. 03. 01	タンパ	RFID エキスパート グループ
2007. 03. 02	タンパ	ISO TC122/TC104 JWG
2007. 03. 13	ソウル	RFID エキスパート グループ韓国
2007. 05. 29	北京	World IC Card Summit
2007. 06. 08	ブレトリア	ISO/IEC JTC1 SC31
2007. 11. 22	ブラハ	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2007. 12. 24~26	北京	中国自動車技術研究センター、AIM 中国、中国RFID産業連盟、中国電子技術標準化研究所
2008. 01. 14~06	クアラルンプール	2 nd Conference for the Asia IT Standardization(CAIST)
2008. 04. 08~09	名古屋	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2008. 06. 04	トロント	ISO/IEC JTC1 SC31
2008. 07. 22~23	デトロイト	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2008. 10. 23~24	ストラスブール	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2009. 02. 23	シンガポール	GS1 Singapore, IDA, iCELL
2009. 02. 27	メルボルン	GS1 Australia
2009. 03. 06	北京	GS1 China
2009. 04. 15~16	京都	ISO/IEC JTC1 SC31 WG1/WG3
2009. 06. 11	シドニー	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2、SC31 AdHoc
2009. 06. 12	シドニー	ISO/IEC JTC1 SC31
2009. 11. 03	クアラルンプール	ISO/IEC JTC1 SC31 Malaysia
2009. 11. 04	バンコク	NECTEC
2009. 11. 05	バンコク	ISO TC122 Thai
2009. 11. 17	サンヤ	KAHALA Board of Directors Meeting
2010. 03. 05	バンコク	Thai Ministry of Science and Technology
2010. 04. 15	香港	International ICT Expo
2010. 05. 24	シンガポール	GS1 Mobile commerce
2010. 05. 27	北京	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2、SC31 AdHoc
2010. 05. 28	北京	ISO/IEC JTC1 SC31
2010. 10. 16	ミュンヘン	Joint Automotive Industry Forum Meeting
2011. 03. 05	バンコク	ISO TC122
2011. 05. 24	ウィーン	ISO/IEC JTC1 SC31 WG2
2011. 05. 25	ウィーン	ISO/IEC JTC1 SC31 WG4
2011. 05. 26	ウィーン	ISO/IEC JTC1 SC31 Hod
2011. 05. 27	ウィーン	ISO/IEC JTC1 SC31
2016. 05. 10	ソウル	ISO TC122 WG12
2016. 05. 11	ソウル	ISO TC122

[12] 特許出願(主なもの)

★特開平5-296149 発明の名称 ダイアフラム式ポンプ

要約 ダイアフラムにかかる局所的な応力を緩和して、ダイアフラムの疲労に対する耐久性を向上させたダイアフラム式ポンプを提供する。

★特公昭52-47974 発明の名称 デジタル演算回路

要約 電源投入直後におけるデジタル演算回路用のF・F等の不安定な動作を簡単な構成の初期値設定機能により安定にすること。

★特開昭49-118303 発明の名称 周波数選択回路

要約 複数個の入カパルス信号の周波数の大小を選択する回路に於いて、誤差を小さくかつ応答速度を早くすること。

★特開昭49-122382 発明の名称 デジタル微分回路

要約 計数誤差の少ない応答性の良いデジタル微分回路。

★特開昭49-126036 発明の名称 自動車用減速表示装置

要約 エンジンブレーキによる減速時に減速表示をおこなって後続車に対して警報を発すること。

- ★特公昭56-23817 発明の名称 デジタル式疑似車体速度発生回路
要約 種々の雑音に誤動作せず、常に正確な疑似車体速度を得、アンチスキッドのデジタル制御を可能にすること。
- ★特開昭50-39185 発明の名称 周波数選択回路
要約 誤差が小さくかつ応答時間が短く、また簡単なデジタル式の回路構成にて2種の入力矩形信号の周波数の大小を比較判別する周波数選択回路。
- ★特開昭50-40182 発明の名称 速度コード信号変換回路
要約 検出速度に応じた周期の検出パルスのパルス間隔を整形パルスのパルス幅に変換し、これを示す計数値を記憶しこの値から設定したパターンに応じたコードを読み出すことにより速度のコード信号を得てサンプリング周期を速度に対応させる変換回路。
- ★特公昭56-6902 発明の名称 疑似車体速度発生回路
要約 アンチスキッド制御装置に用いられる疑似車体速度発生回路において、疑似車体速度の低下率を容易かつ微細に変えられるようにすること。
- ★実開昭51-6841 発明の名称 並列一直列変換回路
要約 (要約なし)
- ★特開昭51-4942 発明の名称 A-D変換回路
要約 パルス入力(車速センサー等)及びアナログ電圧入力(温度センサー等)を時分割よりデジタル2進信号に変換する回路。
- ★特開昭51-7845 発明の名称 制御用計算機のフェイルセーフ回路
要約 制御用計算機の演算停止(ハルト)命令の発生を検知して故障を判定し、計算機の電源を遮断する制御用計算機のフェイルセーフ回路。
- ★特開昭51-12743 発明の名称 制御用計算機のフェイルセーフ回路
要約 自動車の集中制御用計算機の外部雑音による誤動作を防止すること。
- ★特開昭51-84400 発明の名称 電子錠装置
要約 発振するパルス信号に対して時間的制約の下で計数できるようにして、鍵側に発振手段をなす素子を備えただけで充分錠装置の機能を果たし盗人等による解錠を不可能に近くする電子錠装置。
- ★特開昭52-104823 発明の名称 バーコード読取装置
要約 【目的】バーコードラベルの撓みが生じても平面スリットにて矯正して正確にバーコードを読み取ることができる読取装置を得る。
- ★特開昭52-113651 発明の名称 品質情報表示装置
要約 【目的】品質管理特性を測定し、基準値に対する偏差を得て、その値を時間軸と2次元グラフ上に古いデータを消去して偏差データを表示することにより、品質の変動を連続かつ任意に得て管理効率の向上を図ること。
- ★特開昭52-140249 発明の名称 時刻記録装置
要約 【目的】異なった個別符号を読み取って、この情報を基に記憶装置の対応する個別情報エリアを検索し、そのエリアに時計装置からの時刻情報を記憶させ、各人の入退社時刻を所定エリアに集中記憶し、残業時間、賃金計算等の自動化を図ること。
- ★特公昭58-33969 発明の名称 データ転送方式
要約 【目的】データの送受信を行う2つの処理装置で、夫々の処理装置から相手処理装置に伝えられるフラグメッセージのみを使用することにより、最小限のハードウェアでプロセッサ間の相互通信を可能とすること。
- ★特公昭59-13663 発明の名称 空気調和装置の運転方法
要約 【目的】冷、暖房自動切換の空気調和装置において、精度の高い温度制御と、就寝時における最適温度の設定及び経済運転とを、任意の目標温度を設定した状態で簡単に選択して実施できるようにする。
- ★特公昭61-18102 発明の名称 暖房装置の制御方法および装置
要約 【目的】暖房運転開始時に冷たい風が吹き出るのを防止した制御装置において、室内温度と目標温度とに関連して送風停止時間を加減し、送風停止による待ち時間を最小にすること。
- ★特開昭55-72443 発明の名称 アンチスキッド制御装置用基準車輪速度演算装置
要約 【目的】路面と車輪との摩擦係数を判定し、その結果により下降勾配の大きさを変化させることにより、いかなる場合でもほぼ一定の修正時間で速やかに所望の基準車輪速度パターンを得ること。
- ★実開昭55-78230 発明の名称 無接点キーボード
要約 時分割された光走査信号を用いて、操作されたキーを判別する無接点キーボードに関し、従来のキーボードのような接点面の摩擦や腐食による接触不良等の不都合、チャタリングや信号線のノイズ等による誤動作を防止できるもの。
- ★特開昭55-74618 発明の名称 デジタルコンピュータの動作周波数切り替え装置
要約 【目的】スイッチを開放し、負荷を停止させたときは、演算処理データが保存できる程度に比較的長い周期での演算処理をして、簡単な構成で制御系の停止時にデジタル計算機による消費電力の節約を図る。
- ★特開昭55-13517 発明の名称 負荷動作検査装置
要約 【目的】マイクロコンピュータμCMを備えた装置の外部に設けたテストスイッチTSWの信号で自己診断プログラムPGをランさせることにより、短時間で自動的に負荷の動作を検査できる様にする。
- ★特開昭57-13518 発明の名称 入力信号検査装置
要約 【目的】マイクロコンピュータμCMを備えた装置の外部に設けたテストスイッチSWの信号で自己診断プログラムPGをランさせることにより、短時間で正確に入力信号の検作を可能にする。
- ★特開昭57-13519 発明の名称 アナログ入力信号診断装置

- 要約 【目的】A/D変換器を内蔵したマイクロコンピュータ μ CMを備えた装置の外部に設けたテストスイッチの信号で自己診断プログラムをランさせることにより、短時間でアナログ入力信号を検査できる様にする。
- ★特開昭57-13520 発明の名称 自己診断装置
- 要約 【目的】製品外部に設けたテストスイッチの信号で通常プログラムと別に自己診断プログラムをランさせることにより、短時間でしかも正確に負荷の動作及び入力信号の検査を行うこと。
- ★実開昭57-21947 発明の名称 空調機用湿度検知装置
- 要約 空調機の蒸発器の表面に付着する水滴を巧みに利用し、これを吸湿性の布（ガーゼ等）などを用いて汲み上げることにより、一般的に使用される感温素子の感温部をしめらして湿球を作り、この湿球と室温用感温素子である乾球との検出信号の差より相対湿度を検知できるようにすること。
- ★実開昭57-95645 発明の名称 誤動作防止装置
- 要約 マイクロコンピュータを備えた装置の誤動作防止に関し、ノイズリセット判定プログラムをマイクロコンピュータに内蔵させることによって、誤動作の防止を図ることができる。
- ★特開昭57-100504 発明の名称 制御装置
- 要約 【目的】入力信号検出素子の特性のばらつきを制御用デジタルコンピュータの演算処理によって補正することにより、制御仕様を基準のものとは一致させ、かつ調整作業の簡単化と工数の低減化を図る。
- ★特開昭57-147935 発明の名称 車両用表示装置
- 要約 【目的】対象項目の表示すべき数値状態の内いずれか一つを選択する表示装置において、新たな表示項目の表示数値を音声報知することにより、切換表示に対する数値を聴覚で確認できるようにする。
- ★実開昭57-199748 発明の名称 ガス燃焼検出装置
- 要約 ガス燃料を燃焼させて熱源とする給湯及び暖房用ボイラに適した燃焼検出装置に関し、ガスの炎中に耐熱、耐酸化物を入れることによって、ガスの青色炎を赤色炎に変え、その赤色炎より発せられる赤外線をつオトダイオード等によって検知できる。
- ★特開昭58-104522 発明の名称 アナログ・デジタル変換方法
- 要約 【目的】アナログ信号中の雑音信号と同周期でアナログ信号を標本抽出して、これをデジタル信号に変換し、更に周期内のデジタル信号を平均化することにより、A/D変換と同時に雑音を除去する。
- ★特開昭58-120024 発明の名称 炎検知回路
- 要約 【目的】コンデンサに充電される電荷量を制限するクランプ回路を設けることにより、炎抵抗の大小に係わらず応答時間が所定の値を越えないようにする。
- ★特公平2-47763 発明の名称 制御装置
- 要約 【目的】演算処理装置に出場温度検出装置と温度設定装置との出力信号を入力し、ガス供給量制御用電磁弁のリミット制御と立上げ制御を行うことにより、良好な安定性と過渡応答性を待つ温度制御装置を得る。
- ★特開昭59-140684 発明の名称 車両用シンセサイザ
- 要約 【目的】楽曲のリズム、音色などの変調データをセットする設定手段を備え、かつカセットデッキよりの読出信号にて楽曲データを判定することにより、各種変調データに基いて自動的に編曲して合成演奏することができるようにする。
- ★特開平1-241923 発明の名称 各種放送番組の予約設定装置
- 要約 【目的】新聞、雑誌等の番組表に番組の日付、放送局及び放送開始時刻を表わすバーコードを設け、光学的読取手段で読み取り予約設定することにより、簡単な操作で放送番組の予約設定を可能にする。
- ★特開2002-2916 発明の名称 物流管理システム
- 要約 【課題】物品の流通過程で発生する欠品や誤配などの異常状態に迅速に対処し、最上流側の事業者から最下流側の事業者までを一つの流通システムとして最適な状態に管理可能にすることによって、流通コストの低減に寄与すること。【解決手段】情報を伝達する手段として、目視可能な情報の記録及び消去動作を所定回数以上反復可能なリライトタグ1が用意される。上流側事業者3は、商品の出荷時に、出荷情報及び配送情報などを記録装置12によりQRコード化して記録したリライトタグ1をコンテナ7に添付する。配送事業者5は、リライトタグ1に記録された配送情報を読取装置19により読み取った結果に基づいて商品の配送を行う。下流側事業者4は、リライトタグ1に記録された出荷情報を読取装置15により読み取って受領商品の確認を行うと共に、リライトタグ1に対し記録装置16によりQRコード化した受領情報を記録し、そのリライトタグ1をコンテナ7に添付して上流側事業者3へ回送する。
- ★特3886713 発明の名称 物流管理システム
- 要約 【課題】物品の流通過程で発生する欠品や誤配などの異常状態に迅速に対処できるなど、最上流側の事業者から最下流側の事業者までを一つの流通システムとして最適な状態に管理可能にし、且つ物品の受領に関する責任の所在の明確化を確実にすること。【解決手段】情報伝達手段として、目視可能な情報の記録及び消去動作を所定回数以上反復可能なリライト領域などを備えたデータキャリア1が用意される。上流側事業者8は、商品の出荷時に、出荷情報及び配送情報などをQRコード化して記録したデータキャリア1をコンテナ12に添付する。配送事業者10は、データキャリア11に記録された配送情報を読み取った結果に基づいて商品の配送を行う。下流側事業者9は、データキャリア11に記録された出荷情報を読み取って受領商品の確認を行うと共に、データキャリア11に対し、上流側事業者8が予め知っている受領責任者コードを含む受領情報をQRコード化して記録し、そのデータキャリア1をコンテナ12に添付して上流側事業者8へ回送する。
- ★特開2002-87533 発明の名称 物流管理システム及び物流管理システム用のデータキャリア
- 要約 【課題】欠品や誤配などに迅速に対処し、最上流側から最下流側の事業者までを最適に管理可能にして流通コストの低減に寄与し、伝達情報の信頼性を向上させること。【解決手段】不揮発性メモリ並びに目視可能な

情報の記録及び消去動作を反復可能なリライト領域を備えたデータキャリア1を用意し、上流側事業者8は、出荷に必要な情報をQRコードにて記録すると共に電子的なデータとして記憶したデータキャリア1をコンテナ12に添付する。配送事業者10は、データキャリアに記録された配送情報をコード読取装置25により読み取った結果に基づいて配送を行う。下流側事業者9は、データキャリアに記録された出荷情報をコード読取装置21及びリーダライタ23により読み取って受領商品の確認を行うと共に、データキャリアに対し受領情報をQRコード及び電子的なデータとして記録し、そのデータキャリアをコンテナに添付して上流側事業者へ回送する。

★特 3379521 発明の名称 物流管理システム

要約 【課題】送り先に関して国際的な物流を容易化する。

【解決手段】注文主からインターネットを介して通信販売業者に商品を注文する。このとき、注文主の住所を送信すると、パソコンはその注文主の住所を緯度、経度に変換し、リーダライタを介してIDタグに記録する。以後、必要に応じて、IDタグに記録された緯度、経度を読み出し、その緯度、経度から注文主の住所に変換して表示する。

[13] ダイビング

(1) 資格取得

- 1976.09.15 PADI スクーバダイバー資格取得
1978.10.06 四級小型船舶操縦士免許取得
1983.11.20 救急再圧員資格取得
1984.03.18 ADS 2スターダイビングインストラクター資格取得
1984.05.15 潜水士資格取得
1984.11.14 NAUI ダイビングインストラクター資格取得
1985.02.03 NAUI ライフセーバーインストラクター資格取得
1985.02.11 CMAS 2スターダイビングインストラクター資格取得
1985.04.15 JP（日本職業潜水士協会）ダイビングインストラクター資格取得
1986.04.21 日本赤十字救急法講習終了
1986.06.29 日本メディックアラート国際協会救急蘇生法教育訓練課程修了
1986.06.29 日本メディックアラート国際協会エマージェンシーメディカルアシスタント
認定講習試験（救急心肺蘇生法）終了
1986.09.15 日本メディックアラート国際協会救急心肺蘇生法インストラクター資格取得
1988.05.04 CMAS 3スターダイビングインストラクター資格取得
1988.07.24 国際救命救急協会 テーピングトレーナー課程修了
1989.01.06 ADS・CMAS 3スターダイビングインストラクター資格取得
1992.11.01 ダイヤモンドリーフシステムインストラクター資格取得
1993.03.15 ADS 3スターダイビングインストラクター資格取得
1995.02.11 NAUI 10年ダイビングインストラクター認定
1996.03.01 (株)日本ダイビングスポーツ (NDS) 機材技術講習終了
1997.01.31 NAUI ナイトダイビングスペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI ボートダイビングスペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI 水中ナビゲーションスペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI サーチ&リカバリースペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI ディープダイビングスペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI レスキューダイバーズスペシャリティインストラクター認定
1997.01.31 NAUI ライフセーバースペシャリティインストラクター認定
1999.09.01 NAUI 水中写真スペシャリティインストラクター認定
1999.09.01 NAUI 浮力コントロールスペシャリティインストラクター認定
1999.09.01 NAUI ドライスーツスペシャリティインストラクター認定

(2) 栄誉

- 1995.02.11 NAUI 10周年インストラクター表彰
2005.09.01 NAUI 20周年インストラクター表彰
2010.09.17 NAUI 25周年インストラクター表彰
2015.09.01 NAUI 30周年インストラクター表彰
2019.02.01 NAUI 35周年インストラクター表彰

(3) 海外講習・ツアー（個人含む）

- 1984.08.03~08.07 サイパン 1984.08.04 ミクロネシア（サイパン）入国
1985.02.21~02.24 サイパン 1985.02.22 ミクロネシア（サイパン）入国
1985.08.10~08.19 グアム・パラオ・フェーク 1985.08.11 米国（グアム）入国、08.12 パラオ入国、
08.14 米国（グアム）入国
08.15 ミクロネシア（フェーク、トラック諸島）入国
08.19 米国（グアム）入国
1985.10.24~10.27 ロタ、サイパン 1985.10.25 ミクロネシア（サイパン）入国
1987.12.27~1988.01.01 アポリーフ 1987.12.27 フィリピン入国
マニラからサンノゼへ、そこからクルーズ
アポリーフ、エルニドでダイビング
1988.12.29~1989.01.05 ケアンズ 1988.12.30 オーストラリア入国
ケアンズからクルーズ、グレートバリアリーフ（GBR）
1989.04.30~05.06 エジプト・紅海 1989.04.30 エジプト入国
カイロからシナイ半島シャルムエルシェイクまで車
1989.08.10~08.15 バリ島 1989.08.10 インドネシア入国
1989.12.28~1990.01.01 パラオ 1989.12.28 パラオ入国、12.31 米国（グアム）入国、グアム泊
往路はグアムトランジット
1990.04.27~05.03 スル海 1990.04.27 フィリピン入国
マニラからプエルトプリンセサそこからクルーズバステラリーフ
1990.08.10~08.16 バリ島 1990.08.10 インドネシア入国

1991.04.29~05.04	ハワイ (マウイ)	1991.04.29	米国 (ハワイ) 入国
1991.11.15~11.19	ボンベイ (ポナペ)	1991.11.15	ミクロネシア (ボンベイ) 入国
		11.18	米国 (グアム) 入国、グアム泊、往路はグアムトランジット
1992.04.29~05.03	サイパン	1992.04.30	ミクロネシア (サイパン) 入国
1994.11.22~12.04	ガラバゴス諸島	1994.11.22	米国入国、11.23 エクアドル入国
			サンフランシスコ→マイアミー→グアヤキル→サンクリストバル
1996.10.10~10.13	サイパン	1996.10.10	ミクロネシア (サイパン) 入国
1998.11.20~11.24	セブ島	1998.11.20	フィリピン入国
2001.03.22~03.27	パラオ	2001.03.22	米国 (グアム) 入国、03.22 パラオ入国
		03.26	米国 (グアム) 入国、グアム泊
2002.04.25~05.02	マジユロ	2002.04.25	米国 (ハワイ) 入国
		04.26	マーシャルアイランド入国、04.30 米国 (ハワイ) 入国
2002.09.28~10.03	ヤップ	2002.09.28	米国 (グアム) 入国、09.28 ミクロネシア (ヤップ) 入国
		10.02	米国 (グアム) 入国、グアム泊
2011.07.10~07.28	ソロモン、フィジー	2011.07.11	パプアニューギニア入国、07.15 ソロモン入国、
		07.19	フィジー入国、07.23 ニューカレドニア (フランス) 入国
		07.27	オーストラリア入国
2013.06.24~06.30	モルディブ	2013.06.24	モルディブ入国、06.29 スリランカ入国
2016.09.13~09.17	ブルネイ	2016.09.13	マレーシア入国、09.14 ブルネイ入国

(4) 国内講習・ツアー (個人含む)

1980.06.29~07.02	久米島	沖縄
1982.06.12~06.13	越前	
1982.08.13~08.15	敦賀 (立石)	
1983.07.30~08.01	越前	
1983.08.20~08.21	敦賀 (立石)	
1984.07.01~07.01	敦賀 (立石)	
1984.07.08~07.08	敦賀 (立石)	
1984.07.15~07.15	敦賀 (立石)	
1984.09.15~09.15	越前	
1984.09.16~09.16	敦賀 (立石)	
1984.09.23~09.23	越前	
1984.12.14~12.16	串本	シートピア
1985.04.11~04.13	串本	シートピア
1985.04.21~04.21	敦賀 (立石岬先端)	
1985.06.07~06.09	串本	シートピア
1985.06.15~06.16	越前	
1985.08.24~08.25	越前	
1985.09.14~09.15	越前	
1985.10.07~10.07	越前	
1985.11.03~11.04	伊豆海洋公園	東伊豆
1985.11.10~11.10	敦賀 (立石)	
1985.11.22~1985.11.24	三宅島	伊豆七島
1985.11.24~11.25	雲見	西伊豆
1985.12.31~1986.01.04	八丈島	伊豆七島
1986.01.26~01.26	大瀬崎	
1986.02.15~02.16	大瀬崎	
1986.04.12~04.13	雲見	西伊豆
1986.05.03~05.05	三宅島	伊豆七島
1986.05.17~05.18	菖蒲沢	東伊豆
1986.05.30~06.01	串本	シートピア
1986.06.07~06.08	越前	
1986.06.21~06.22	越前	
1986.08.16~08.17	越前	
1986.09.13~09.14	伊豆海洋公園	東伊豆
1986.10.11~10.12	菖蒲沢	東伊豆
1986.11.20~11.22	串本	シートピア
1986.12.31~1987.01.03	座間味島	沖縄、やどかり宮平さん
1987.01.24~01.25	大瀬崎	
1987.02.08~02.11	宇登呂・札幌	知床アイスダイビング
1987.03.21~03.22	伊豆海洋公園	東伊豆
1987.04.02~04.05	串本	シートピア

1987. 05. xx~05. xx	串本	シートピア
1987. 06. 06~06. 07	越前	
1987. 06. 26~06. 29	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、下田、大島、岩本さん
1987. 07. 25~07. 26	越前	
1987. 07. 30~07. 31	菖蒲沢	東伊豆
1987. 10. 18~10. 19	大瀬崎	
1987. 10. 30~11. 03	宮古島	
1988. 02. 14~02. 14	伊豆海洋公園	東伊豆
1988. 03. 17~03. 20	奄美大島	鹿児島
1988. 04. 01~04. 03	串本	シートピア
1988. 04. 08~04. 10	伊豆海洋公園	東伊豆
1988. 05. 01~05. 05	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、岩本さん
1988. 05. 28~05. 29	伊豆海洋公園	東伊豆
1988. 07. 08~07. 10	白浜	和歌山
1988. 07. 23~07. 24	越前	
1988. 08. 12~08. 16	串本	シートピア
1988. 10. 07~10. 08	大瀬崎	
1988. 10. 15~10. 16	井田	
1988. 10. 22~10. 23	大瀬崎	
1988. 10. 24~10. 25	初島	東伊豆熱海
1988. 10. 29~11. 01	久米島	沖縄
1988. xx. xx~xx. xx	網代	東伊豆
1988. xx. xx~xx. xx	伊豆大島	伊豆七島
1988. 11. 05~11. 06	井田	
1989. 01. 01~01. 04	宮古島	沖縄、シュガーケイン
1989. 05. 27~05. 28	井田	
1989. 06. 02~06. 04	熱川	東伊豆
1989. 06. 17~06. 18	井田	
1989. 09. 16~09. 17	越前	
1989. 09. xx~09. xx	熱川	東伊豆
1989. 10. 14~10. 15	井田	
1989. 10. 21~10. 22	式根島	伊豆七島
1989. 10. 28~10. 29	井田・大瀬崎	
1989. 11. 02~11. 05	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、岩本さん
1989. 11. 17~11. 19	串本	シートピア
1989. 11. 25~11. 26	神子元	伊豆下田、浅間丸
1990. 05. 26~05. 27	井田	
1990. 06. 16~06. 17	井田	
1990. 06. 28~07. 01	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、岩本さん
1990. 09. 22~09. 23	井田	
1991. 06. 08~06. 09	井田	
1991. 09. 20~09. 21	越前	
1991. 10. 05~10. 06	井田	
1991. 11. 01~11. 05	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、岩本さん
1991. 11. 15~11. 18	串本	シートピア
1991. 12. 07~12. 08	尾鷲	三重
1992. 01. 18~01. 19	尾鷲	三重
1992. 05. 23~05. 24	井田	
1992. 06. 17~06. 21	西表島	沖縄、ダイビングチームうなりざき、岩本さん
1992. 07. 04~07. 05	越前	
1992. 07. 25~07. 26	熱川	東伊豆
1992. 08. 10~08. 13	伊是名島	沖縄、伊礼さん
1992. 09. 05~09. 06	井田	
1992. 09. 25~09. 27	神子元	伊豆下田、浅間丸
1992. 10. 10~10. 11	井田	
1993. 04. 09~04. 11	串本	シートピア
1993. 07. 14~07. 17	伊是名島	沖縄、伊礼さん
1993. 10. 15~10. 17	串本	シートピア
1994. 08. 07~08. 11	伊是名島	沖縄、伊礼さん
1994. 10. 07~10. 09	神子元	伊豆下田、浅間丸
1994. 10. 15~10. 16	井田	

1994. 11. 18~11. 20	串本	シートピア
1995. 07. 21~07. 24	宮古島	沖縄
1995. 08. 12~08. 16	伊是名島	沖縄、伊礼さん
1995. 10. 13~10. 15	串本	シートピア
1995. 10. 21~10. 22	井田	
1995. 10. 28~10. 30	串本	シートピア
1996. 07. xx~07. xx	伊江島	沖縄
1997. 01. 18~01. 19	田子	西伊豆
1997. 02. 15~02. 16	赤沢	東伊豆
1997. 02. 23~02. 23	安良里	西伊豆
1997. 02. 24~02. 24	井田	
1997. 03. 01~03. 02	井田	
1997. 05. 18~05. 18	大瀬崎	
1997. 05. 24~05. 24	安良里	西伊豆
1997. 08. 30~08. 31	井田	
1997. 09. 05~09. 06	安良里	西伊豆
1997. 10. 09~10. 12	井田	
1998. 02. 14~02. 15	八幡野	東伊豆
1998. 05. 02~05. 04	井田	
1998. 06. 06~06. 07	井田	
1998. 08. 09~08. 13	伊是名島	沖縄、伊礼さん
1998. 10. 10~10. 11	大瀬崎	
1998. 10. 24~10. 25	初島	東伊豆熱海
1998. 11. 14~11. 15	井田	
1999. 10. 29~10. 31	串本	シートピア
2000. 05. 01~05. 05	柏島	高知
2000. 06. 10~06. 11	大瀬崎	
2000. 07. 15~07. 16	大瀬崎	
2000. 08. 06~08. 06	大瀬崎	
2000. 10. 07~10. 08	神子元	伊豆下田、浅間丸
2001. 01. 19~01. 20	南勢	三重、五ヶ所湾
2001. 05. 03~05. 05	大瀬崎	
2001. 07. 28~07. 29	赤沢	東伊豆
2001. 08. 16~08. 19	石垣島	沖縄
2001. 09. 08~09. 09	伊豆大島	伊豆七島
2001. 11. 24~11. 24	井田	
2002. xx. xx~xx. xx	串本	シートピア
2003. 02. 07~02. 08	熱海	東伊豆
2003. 08. 30~08. 31	浮島	西伊豆
2004. 06. 27~06. 27	越前	